(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2024年8月15日(15.08.2024)

WIPO | PCT

(10) 国際公開番号
WO 2024/166488 A1

(51) 国際特許分類:
A63F 9/30 (2006.01)

(21) 国際出願番号： PCT/JP2023/041539

(22) 国際出願日： 2023年11月17日(17.11.2023)

(25) 国際出願の言語： 日本語

(26) 国際公開の言語： 日本語

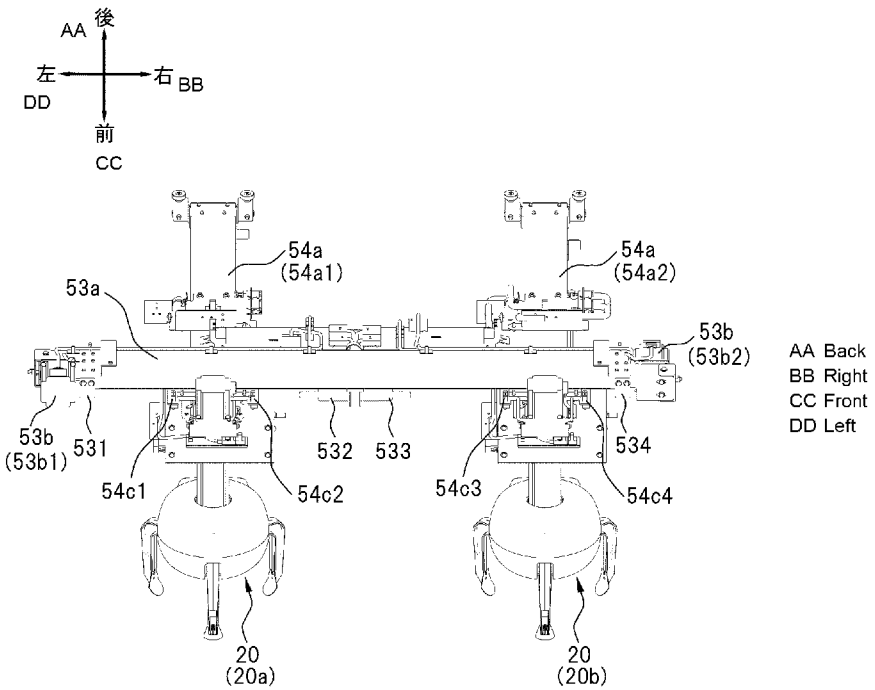
(30) 優先権データ：
特願 2023-016481 2023年2月6日(06.02.2023) JP

(71) 出願人:株式会社セガ(**SEGA CORPORATION**) [JP/JP]; 〒1410033 東京都品川区西品川一丁目１番１号 住友不動産大崎ガーデンタワー Tokyo (JP).

(72) 発明者: 瀧川 里穂 (**TAKIKAWA, Riho**); 〒1410033 東京都品川区西品川一丁目１番１号 住友不動産大崎ガーデンタワー 株式会社セガ内 Tokyo (JP). 深澤 光晴(**FUKAZAWA, Mitsuharu**); 〒1410033 東京都品川区西品川一丁目１番１号 住友不動産大崎ガーデンタワー 株式会社セガ内 Tokyo (JP). 御所園 空也(**GOSHOZONO, Takaya**); 〒1410033 東京都品川区西品川一丁目１番１号 住友不動産大崎ガーデンタワー 株式会社セガ内 Tokyo (JP). 冨永 麻子(**TOMINAGA, Asako**); 〒1410033 東京都品川区西品川一丁目１番１号 住友不動産大崎ガーデンタワー 株式会社セガ内 Tokyo (JP). 福永 桃子(**FUKUNAGA, Momoko**); 〒1410033 東京都品川区西品川一丁目１番１号 住友不動産大崎ガーデンタワー 株式会社セガ内 Tokyo (JP).

(54) **Title:** PRIZE-ACQUISITION GAME DEVICE

(54) 発明の名称： 景品取得ゲーム装置



(57) **Abstract:** The present invention enables the sizes of a first play area and a second play area to be changed. This prize-acquisition game device comprises: a fixed rail that extends in a left-right direction across a left-side first play area and a right-side second play area which are adjacent to each other to the left and right within a storage space that accommodates prizes; a first moving rail that is orthogonal to the fixed rail and that is supported by the fixed rail so as to be movable along the left-right direction in the first play area; a first prize acquisition part that is supported by the first

WO 2024/166488 A1

［続葉有］

花房 裕樹(Hanafusa, Yuuki)；〒1410033 東京都品川区西品川一丁目１番１号 住友不動産大崎ガーデンタワー 株式会社セガ内 Tokyo (JP).

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能)：AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CV, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IQ, IR, IS, IT, JM, JO, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, MG, MK, MN, MU, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, WS, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能)：ARIPO (BW, CV, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SC, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, ME, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類：

一　国際調査報告（条約第21条(3)）

moving rail so as to be movable along a front-back direction; a first sensor that is attached to the first moving rail, and that senses a right end position of the first play area; a first operation part that operates the first sensor, and that is supported by the fixed rail so as to be movable along the left-right direction; a second moving rail that is orthogonal to the fixed rail and that is supported by the fixed rail so as to be movable along the left-right direction in the second play area; a second prize acquisition part that is supported by the second moving rail so as to be movable along the front-back direction; a second sensor that is attached to the second moving rail, and that senses a left end position of the second play area; and a second operation part that operates the second sensor, and that is supported by the fixed rail so as to be movable along the left-right direction. The fixed rail: supports the first operation part at a position after movement between the first moving rail and the second operation part so that the right end position of the first play area can be changed; and supports the second operation part at a position after movement between the first operation part and the second moving rail so that the left end position of the second play area can be changed.

(57) 要約：第１プレイエリア及び第２プレイエリアの大きさを変更可能にする。本発明に係る景品取得ゲーム装置は、景品を収容する収納空間内で左右に隣り合う左側の第１プレイエリア及び右側の第２プレイエリアに跨って左右方向に延在する固定レールと、前記第１プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１移動レールと、前後方向に沿って移動自在に前記第１移動レールに支持された第１景品取得部と、前記第１移動レールに取付けられ、第１プレイエリアの右端位置を検知する第１センサーと、前記第１センサーを作動させる第１作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１作動部と、前記第２プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２移動レールと、前後方向に沿って移動自在に前記第２移動レールに支持された第２景品取得部と、前記第２移動レールに取付けられ、第２プレイエリアの左端位置を検知する第２センサーと、前記第２センサーを作動させる第２作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２作動部を備え、前記固定レールは、前記第１移動レールと前記第２作動部との間での移動後の位置において前記第１作動部を支持することにより、第１プレイエリアの右端位置を変更可能にし、前記第１作動部と前記第２移動レールとの間での移動後の位置において前記第２作動部を支持することにより、第２プレイエリアの左端位置を変更可能にする。

明　細　書

発明の名称 ： 景品取得ゲーム装置

技術分野

[0001]　本発明は、景品取得ゲーム装置に関する。

背景技術

[0002]　景品を収容する収容空間内で前記景品を取得する景品取得部を移動させて遊戯者にゲームプレイさせる景品取得ゲーム装置が知られている（たとえば、特許文献１）。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献1：特開２０１９－９８０７６号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004]　特許文献１に記載の景品取得ゲーム装置は、遊戯者が景品取得ゲームをプレイする第１プレイエリアを収容空間内の左側に形成し、収容空間内の右側に第２プレイエリアを形成している。第１プレイエリアと第２プレイエリアでは、それぞれに対応させて第１景品取得部と第２景品取得部が移動可能となっている。第１プレイエリアと第２プレイエリアは、同じ大きさであるため、第１景品取得部と第２景品取得部の収容空間内での可動範囲も同じ大きさになっている。第１プレイエリアと第２プレイエリアの大きさは変更することができない構造になっているため、第１景品取得部と第２景品取得部の収容空間内での可動範囲の大きさも変更できない。その一方で、サービス提供者（例えば、店員等）は、収容空間内で景品の種類やサイズ等に合わせて多様なゲームプレイができるように、左右で異なる大きさのプレイエリアに変更したい場合があった。

[0005]　本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、第１プレイエリア及び第２プレイエリアの大きさを変更可能にす

ることにある。

課題を解決するための手段

[0006] 上記課題を解決するための本発明の主たる発明は、

景品を収容する収納空間内で左右に隣り合う左側の第１プレイエリア及び右側の第２プレイエリアに跨って左右方向に延在する固定レールと、

前記第１プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１移動レールと、

前後方向に沿って移動自在に前記第１移動レールに支持された第１景品取得部と、

前記第１移動レールに取付けられ、第１プレイエリアの右端位置を検知する第１センサーと、

前記第１センサーを作動させる第１作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１作動部と、

前記第２プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２移動レールと、

前後方向に沿って移動自在に前記第２移動レールに支持された第２景品取得部と、

前記第２移動レールに取付けられ、第２プレイエリアの左端位置を検知する第２センサーと、

前記第２センサーを作動させる第２作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２作動部と、

を備え、

前記固定レールは、前記第１移動レールと前記第２作動部との間での移動後の位置において前記第１作動部を支持することにより、第１プレイエリアの右端位置を変更可能にし、前記第１作動部と前記第２移動レールとの間での移動後の位置において前記第２作動部を支持することにより、第２プレイエリアの左端位置を変更可能にする、

ことを特徴とする景品取得ゲーム装置である。

本発明の他の特徴については、本明細書及び添付図面の記載により明らかにする。

図面の簡単な説明

[0007] [図1]本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の構成を示す外観図である。

[図2]本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の構成を示す概略斜視図である。

[図3]本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の構成を示すブロック図である。

[図4]本実施形態に係る景品取得部２０の構成を示す概略図である。

[図5]本実施形態に係る移動部５０の構成を示す概略斜視図である。

[図6]本実施形態に係る移動部５０の構成を示す平面側斜視図である。

[図7]本実施形態に係る移動部５０の構成を示す右面側斜視図である。

[図8]本実施形態に係る第１右端作動部５３２の構成を示す概略斜視図である。

[図9]本実施形態に係る第２左端作動部５３３の構成を示す概略斜視図である。

[図10]第１右端作動部５３２と第２左端作動部５３３を右側へ移動させた状態を示す図である。

[図11]第１右端作動部５３２を左側へ移動させ第２左端作動部５３３を右側へ移動させた状態を示す図である。

[図12]プレイエリアの設定について説明する図である。図１２Ａは、第１プレイエリアＰＡ１と第２プレイエリアＰＡ２を同じ大きさに設定した状態を示す図である。図１２Ｂは、第１プレイエリアＰＡ１よりも小さい第２プレイエリアＰＡ２を設定した状態を示す図である。図１２Ｃは、第１プレイエリアＰＡ１と第２プレイエリアＰＡ２との間に展示エリアＤＡを設定した状態を示す図である。

[図13]本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の動作例を説明するフローチャートである。

[図14]本実施形態に係る作動部５３５の構成を示す概略斜視図である。

発明を実施するための形態

[0008] 本明細書及び添付図面の記載により、少なくとも以下の事項が明らかとなる。

即ち、景品を収容する収納空間内で左右に隣り合う左側の第１プレイエリア及び右側の第２プレイエリアに跨って左右方向に延在する固定レールと、

前記第１プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１移動レールと、

前後方向に沿って移動自在に前記第１移動レールに支持された第１景品取得部と、

前記第１移動レールに取付けられ、第１プレイエリアの右端位置を検知する第１センサーと、

前記第１センサーを作動させる第１作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１作動部と、

前記第２プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２移動レールと、

前後方向に沿って移動自在に前記第２移動レールに支持された第２景品取得部と、

前記第２移動レールに取付けられ、第２プレイエリアの左端位置を検知する第２センサーと、

前記第２センサーを作動させる第２作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２作動部と、

を備え、

前記固定レールは、前記第１移動レールと前記第２作動部との間での移動後の位置において前記第１作動部を支持することにより、第１プレイエリアの右端位置を変更可能にし、前記第１作動部と前記第２移動レールとの間での移動後の位置において前記第２作動部を支持することにより、第２プレイエリアの左端位置を変更可能にする、

ことを特徴とする景品取得ゲーム装置である。

このような景品取得ゲーム装置によれば、サービス提供者（例えば、店員等）は、固定レールに沿って第１作動部及び第２作動部ぞれぞれの左右方向の位置を調整することで、第１プレイエリア及び第２プレイエリアの大きさを個別に変更にすることが可能となる。

[0009] また、かかる景品取得ゲーム装置であって、

前記第１移動レールの左右方向に沿う移動によって第１作動部が第１センサーを作動させた場合に、前記第１移動レールを第１プレイエリアの右端位置で停止させ、前記第２移動レールの左右方向に沿う移動によって第２作動部が第２センサーを作動させた場合に、前記第２移動レールを第２プレイエリアの左端位置で停止させる制御部を備えることとしても良い。

このような景品取得ゲーム装置によれば、第１プレイエリアに対応させて第１景品取得部の可動範囲を制限できると共に、第２プレイエリアに対応させて第２景品取得部の可動範囲を制限することができる。

[0010] また、かかる景品取得ゲーム装置であって、

前記固定レールは、第１プレイエリアの右端位置から第２プレイエリアの左端位置まで間隔を開けるように第１作動部及び第２作動部を支持することにより、第１プレイエリアと第２プレイエリアとの間に非プレイエリアを形成可能にすることとしても良い。

このような景品取得ゲーム装置によれば、サービス提供者は、第１作動部と第２作動部の左右方向の間隔を調整することで、収納空間内にプレイエリアだけでなく、非プレイエリアも形成できるようになる。

[0011] また、かかる景品取得ゲーム装置であって、

前記固定レールは、前記第１作動部及び前記第２作動部を左右方向に沿ってスライド移動可能に支持し、

前記第１作動部及び前記第２作動部は、スライド移動後の位置において磁石によって前記固定レールに位置決めされることとしても良い。

このような景品取得ゲーム装置によれば、サービス提供者は、簡単な操作

で、第１作動部及び第２作動部ぞれぞれの左右方向の位置を決めることができる。

[0012] また、景品を収容する収納空間内で左右に隣り合う左側の第１プレイエリア及び右側の第２プレイエリアに跨って左右方向に延在する固定レールと、

前記第１プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１移動レールと、

前後方向に沿って移動自在に前記第１移動レールに支持された第１景品取得部と、

前記第２プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２移動レールと、

前後方向に沿って移動自在に前記第２移動レールに支持された第２景品取得部と、

前記第１移動レールに取付けられ、第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置を検知する第１センサーと、

前記第２移動レールに取付けられ、第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置を検知する第２センサーと、

前記第１センサー及び前記第２センサーを作動させる作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された作動部と、

を備え、

前記固定レールは、前記第１移動レールと前記第２移動レールとの間での移動後の位置において前記作動部を支持することにより、第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置を変更可能にする、

ことを特徴とする景品取得ゲーム装置である。

このような景品取得ゲーム装置によれば、サービス提供者（例えば、店員等）は、固定レールに沿って作動部の左右方向の位置を調整することで、第１プレイエリア及び第２プレイエリアの大きさを同時に変更にすることが可能となる。

[0013] また、かかる景品取得ゲーム装置であって、

前記第１移動レールの左右方向に沿う移動によって作動部が第１センサーを作動させた場合に、前記第１移動レールを第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置で停止させ、前記第２移動レールの左右方向に沿う移動によって作動部が第２センサーを作動させた場合に、前記第２移動レールを第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置で停止させる制御部を備えることとしても良い。

このような景品取得ゲーム装置によれば、第１プレイエリアに対応させて第１景品取得部の可動範囲を制限できると共に、第２プレイエリアに対応させて第２景品取得部の可動範囲を制限することができる。

[0014] ＝＝＝実施形態＝＝＝

＜＜景品取得ゲーム装置１の構成について＞＞

本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の構成例について、図１乃至図４を用いて説明する。図１は、本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の構成を示す外観図である。図２は、本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の構成を示す概略斜視図である。なお、図２では、図１に示す開閉扉１１、柱部１２の一部、景品取得部２０等を取り外した状態を示している。図３は、本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の構成を示すブロック図である。図４は、本実施形態に係る景品取得部２０の構成を示す概略図である。なお、図４では、景品取得部２０のデザインカバーを取り外した状態を示している。

[0015] 以下の説明では、各図に示すように各方向を定義する。すなわち、鉛直方向を「上下方向」とし、重力に従って「上」と「下」を定義する。また、景品取得ゲーム装置１に対峙してゲームプレイする遊戯者から見たときを基準にして、手前側を「前」とし、奥側を「後」として「前後方向」定義する。また、上下方向及び前後方向に垂直な方向を「左右方向」とし、前記遊戯者から見たときを基準にして、「右」と「左」を定義する。

[0016] 本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１は、遊戯者が景品取得ゲームをプレイする際に用いられるものであり、１又は複数の景品を収容する収容部１０と、収容部１０の下方に設けられた基台部８０を備えている。

[0017] 収容部１０は、図１に示すように、その収容空間内に収容された景品を遊戯者が視認できるように前面及び左右側面が透明部材（例えば、透明な樹脂、ガラス等）によって形成されている。収容部１０の前面には、開閉扉１１が設けられており、サービス提供者（例えば、店員等）が景品の陳列や補充等を行うことができる。収容部１０の四角には、柱部１２が設けられている。

[0018] 収容部１０によって囲われた収容空間は、遊戯者が景品取得ゲームをプレイするためのプレイエリアとして用いられる。開閉扉１１の両側にある柱部１２を、鏡面状部材や透明部材で形成した場合には、視覚的に目立たせなくし、プレイエリアを広く見せることができる。

[0019] 本実施形態における収容部１０は、図１及び図２に示すように、収容空間において景品の取得動作を行う景品取得部２０と、収容空間において景品取得部２０を移動させる移動部５０と、収容空間において景品を展示するための展示部６０を有している。

[0020] 本実施形態では、遊戯者が景品取得ゲームをプレイする第１プレイエリアが収容空間内の左側に形成され、収容空間内の右側に第２プレイエリアが形成される。左側の第１プレイエリアと右側の第２プレイエリアのそれぞれに対応させて、景品取得部２０及び展示部６０が配置されている。そのため、各々のプレイエリア内では、各々の景品取得部２０が移動して各々の展示部６０に展示された景品を取得できるように構成されている。

[0021] 本実施形態に係る景品取得部２０は、図１に示すように、左側の第１プレイエリアに対応させた第１景品取得部２０ａと、右側の第２プレイエリアに対応させた第２景品取得部２０ｂを有している。第１景品取得部２０ａの収容空間内での可動範囲は、第１プレイエリア内に制限され、第２景品取得部２０ｂの収容空間内での可動範囲は、第２プレイエリア内に制限される。

[0022] 景品取得部２０は、収容部１０に収容された景品（展示部６０に展示された景品）をアームの開閉動作によって取得するためのものである。本実施形態における景品取得部２０は、図１に示すように、３本のアームによって景

品を把持できるように構成され、昇降部５２ａの下端に連結されている。

[0023] 本実施形態に係る景品取得部２０は、図４に示すように、昇降部５２ａの下端に連結されるベース部２１と、開閉動作を行う複数のアーム部２５と、アーム部２５を開閉駆動する駆動部３５を有する。

[0024] ベース部２１は、鉛直方向に沿う中心軸を中心として３方向に１２０度間隔でずらした三つ又形状の突出部２２を有している。

[0025] アーム部２５は、Ｌ字状や半円状に屈曲したアーム２９と、アーム２９をベース部２１に対して着脱可能に連結するアーム連結部２８と、アーム２９の先端に着脱可能に取付けられた爪３０を有する。

[0026] アーム２９は、第１のアーム２９Ａ、第２のアーム２９Ｂ、第３のアーム２９Ｃの３本からなり、突出部２２の三つ又形状に合うように、ベース部２１の中心軸を中心として３方向に１２０度間隔でずらした三つ又形状に延在する。

[0027] 駆動部３５は、第１の駆動部３５Ａ、第２の駆動部３５Ｂ、第３の駆動部３５Ｃの３つからなり、アーム毎に設けられている。第１の駆動部３５Ａ、第２の駆動部３５Ｂ、第３の駆動部３５Ｃは、図４に示すように、第１のアーム２９Ａ、第２のアーム２９Ｂ、第３のアーム２９Ｃのそれぞれに対応して、別々に開閉駆動する。

[0028] 第１の駆動部３５Ａは、アーム開閉用モーター３５Ａａと、アーム開閉用モーター３５Ａａに連結されたギアボックス３５Ａｂを有する。ギアボックス３５Ａｂは、アーム開閉用モーター３５Ａａの回転力を減速して出力するものである。

[0029] 同様にして、第２の駆動部３５Ｂは、アーム開閉用モーター３５Ｂａと、アーム開閉用モーター３５Ｂａに連結されたギアボックス３５Ｂｂを有し、また、第３の駆動部３５Ｃは、アーム開閉用モーター３５Ｃａと、アーム開閉用モーター３５Ｃａに連結されたギアボックス３５Ｃｂを有する。

[0030] 本実施形態に係る景品取得部２０では、例えば第１のアーム２９Ａが開いた状態の場合、アーム開閉用モーター３５Ａａが出力軸を所定方向に回転さ

せると、ギアボックス３５Ａｂを介して第１のアーム２９Ａに動力が伝わり、第１のアーム２９Ａが閉じる方向に回動する。このとき、第２のアーム２９Ｂ及び第３のアーム２９Ｃも、アーム開閉用モーター３５Ｂａ及びアーム開閉用モーター３５Ｃａのそれぞれの駆動により、同様にして閉じる方向に回動する。

[0031] 移動部５０は、図１に示すように、収容部１０内の上部に配置されており、収容部１０によって形成されたプレイエリア内で景品取得部２０を移動させるものである。本実施形態における移動部５０は、図３に示すように、水平移動部５１と鉛直移動部５２を有している。

[0032] 水平移動部５１は、プレイエリアにおいて水平方向（つまり、前後方向及び左右方向）に景品取得部２０を移動させるものである。鉛直移動部５２は、プレイエリアにおいて鉛直方向（つまり、上下方向）に景品取得部２０を移動させるものである。

[0033] 展示部６０は、収容部１０において景品を展示するためのものである。本実施形態に係る展示部６０は、収容空間に景品を載置して展示するものであり、図２に示すように、支持部６１と、収容空間に配置されることによって開口領域７１を形成する第１景品載置部６２と、収容空間に配置されることによって開口領域７１の一部を塞いで景品を落下させる落下口領域７２を形成する第２景品載置部６３を有する。

[0034] 支持部６１は、収容空間において第１景品載置部６２及び第２景品載置部６３を配置可能に支持するものである。本実施形態では、第１景品載置部６２を収容空間内で配置換えできないように固定して支持し、第２景品載置部６３を収容空間内で配置換え可能に支持する。

[0035] 本実施形態の支持部６１は、第１景品載置部６２の下側において、第２景品載置部６３が摺動可能な状態で支持している。そのため、前後方向に第２景品載置部６３をスライドさせることで、第１景品載置部６２に対する第２景品載置部６３の配置換えを行い、景品を載置できる載置領域の形状や大きさを変えたり、落下口領域７２の形状や大きさを変えたりすることができる

。

[0036] 第１景品載置部６２は、原則として配置を変更することができないものとして、収容空間内に固定されている。図２に示すように、収容空間内において第１景品載置部（固定景品載置部）が設けられていない領域（塞がれていない領域）は開口領域７１である。

[0037] 第２景品載置部６３は、収容空間内において配置換え可能に構成されており、図２に示すように、開口領域７１の一部を塞ぐように支持部６１に支持されることで、落下口領域７２を形成する。

[0038] 景品取得部２０によって取得後に落下された景品は、展示部６０の落下口領域７２を通過（落下）すると、プレイエリアから基台部８０へ移動したことになる。展示部６０の落下口領域７２から落下した景品は、光学センサーによって検出された後、誘導経路によって景品取出口９６まで導かれる。光学センサーは、その誘導経路上に取付けられている発光部と受光部によって景品の有無を検出する。

[0039] 基台部８０は、収容部１０の下方に設けられた筐体のベース部分であって、遊戯者が起立した状態で正面を向いたままゲームプレイができるよう収容部１０を高い位置に保持するものである。

[0040] 本実施形態における基台部８０は、図１乃至図３に示すように、操作部９０と、プレイ料金検出部９３と、景品取出口９６と、設定部１００と、制御部１１０と、記憶部１２０を有している。

[0041] 操作部９０は、遊戯者がゲーム操作を行うためのものである。本実施形態における操作部９０は、図１乃至図３に示すように、少なくともジョイスティック９１と、操作ボタン９２を有している。

[0042] ジョイスティック９１は、景品取得部２０を水平方向に移動させるために遊戯者が用いる操作用レバーである。操作ボタン９２は、水平方向における景品取得部２０の位置を決定するために遊戯者が用いる操作用のボタンである。遊戯者によって操作ボタン９２が押されると、その決定された位置で景品取得部２０が下降し始める。

[0043] プレイ料金検出部９３は、遊戯者によるプレイ料金の支払いを検出するためのものである。本実施形態におけるプレイ料金検出部９３は、コイン投入口９４と、不図示のコイン検出センサーと、不図示のコイン通過経路、不図示のコインボックスを有している。

[0044] 本実施形態では、遊戯者によって所定枚数のコインがコイン投入口９４から投入されることにより、景品取得ゲームが開始される。コイン投入口９４から投入されたコインは、コイン検出センサーによって検出される。

[0045] コイン検出センサーは、例えば光学式のセンサーであって、コイン通貨経路上に取付けられている発光部と受光部により、コイン投入口９４から投入されたコインの有無を検出する。このようにしてコイン通貨経路を通過したコインは、コインボックスに収容される。

[0046] 景品取出口９６は、基台部８０の前面に設けられており、景品取得部２０によって取得された景品が展示部６０における落下口領域７２から落下した際に、その落下した景品を取り出すためのものである。

[0047] 設定部１００は、遊戯者がゲーム操作などを行う際、又は、サービス提供者が設定操作を行う際に利用するためのものである。本実施形態における設定部１００は、図１乃至図３に示すように、設定操作部１０１と、表示部１０２を有している。

[0048] 設定操作部１０１は、操作入力を受け付けるためのものである。本実施形態における設定操作部１０１は、タッチパネルによって構成されており、その押圧位置から操作者の入力指示を受け付ける。

[0049] タッチパネルは、表示部１０２の上に積層されており、画面に対するタッチ操作が行われると、その指先と導電膜との間での静電容量の変化に基づき押圧位置（接触位置）を検出することができる。

[0050] 表示部１０２は、ゲーム画面や設定画面などの各種画面を表示するものである。本実施形態における表示部１０２は、液晶ディスプレイによって構成されている。

[0051] 制御部１１０は、基台部８０の内部に設けられており、景品取得ゲーム装

置１の各種制御を行うための制御ユニットである。制御部１１０は、図３に示すように、ＣＰＵ１１１と、メモリー１１２を少なくとも有する。

[0052] ＣＰＵ１１１は、ゲーム装置全体の制御を行うための演算処理装置である。メモリー１１２は、ＣＰＵ１１１のプログラムを格納する領域や作業領域等を確保するためのものであり、ＲＡＭ等の記憶素子を有する。

[0053] 記憶部１２０は、制御部１１０がゲーム処理を実行するためのプログラムやデータを格納するユニットである。本実施形態では、読み取り専用の記憶領域であるＲＯＭ等の記憶素子を有する。

[0054] ＜＜移動部５０の構成について＞＞

本実施形態に係る移動部５０の構成例について、図５乃至図９を用いて説明する。図５は、本実施形態に係る移動部５０の構成を示す概略斜視図である。図６は、本実施形態に係る移動部５０の構成を示す平面側斜視図である。図７は、本実施形態に係る移動部５０の構成を示す右面側斜視図である。図８は、本実施形態に係る第１右端作動部５３２の構成を示す概略斜視図である。図９は、本実施形態に係る第２左端作動部５３３の構成を示す概略斜視図である。

[0055] 以下では、本実施形態に係る移動部５０が有する水平移動部５１及び鉛直移動部５２の構成について具体的に説明する。

[0056] 水平移動部５１は、図５に示すように、左右移動部５３と前後移動部５４を有している。左右移動部５３は、プレイエリアにおいて左右方向に景品取得部２０を移動させるものである。前後移動部５４は、プレイエリアにおいて前後方向に景品取得部２０を移動させるものである。

[0057] 本実施形態に係る左右移動部５３は、図５に示すように、収納空間内で左右方向に延在する一対の固定レール５３ａと、前側の固定レール５３ａの左右両端に配置された左右移動用モーター５３ｂを有している。

[0058] 本実施形態に係る前後移動部５４は、図５に示すように、収納空間内で前後方向に延在する複数の移動レール５４ａと、各々の移動レール５４ａの前端に配置された前後移動用モーター５４ｂを有している。

[0059] 鉛直移動部５２は、図５に示すように、上下方向に沿って伸縮自在に構成された昇降部５２ａと、昇降部５２ａを昇降自在に吊設する吊設部５２ｂを有している。昇降部５２ａは、順次小径となる複数のパイプを入子式に摺動自在に嵌合させて構成されている。昇降部５２ａの下端には、パイプの内側を通過するワイヤーに接続された状態で景品取得部２０が取付けられている。吊設部５２ｂの下端には、景品取得部２０を吊り下げた状態で昇降部５２ａが取付けられている。吊設部５２ｂの上端は、移動レール５４ａによって前後方向に沿って移動自在に支持されている。

[0060] 本実施形態に係る鉛直移動部５２は、吊設部５２ｂの内部に、ワイヤー巻取部と、上下移動用モーターと、上限センサーと、下限センサーを有している。ワイヤー巻取部は、上下移動用モーターの駆動により、ワイヤーを巻き上げることによって上位のパイプに下位のパイプを順次収納しつつ景品取得部２０を上昇させ、又は、ワイヤーを巻き戻すことによって上位のパイプから下位のパイプを順次送出させつつ景品取得部２０を下降させる。上限センサーは、景品取得部２０に接続されたワイヤーの巻き上げにより、景品取得部２０の上昇が止まった状態か否かを検出するものである。下限センサーは、景品取得部２０に接続されたワイヤーの張力変化に基づき、景品取得部２０の下降が止まった状態か否かを検出するものである。

[0061] 本実施形態に係る固定レール５３ａは、収納空間内で左右に隣り合う左側の第１プレイエリア及び右側の第２プレイエリアに跨って左右方向に延在するものであり、図５に示すように、左側の第１プレイエリアに対応させた第１移動レール５４ａ１と、右側の第２プレイエリアに対応させた第２移動レール５４ａ２を、それぞれ共用レールに沿って移動自在に支持している。

[0062] 前側の固定レール５３ａの左端には、図５に示すように、第１移動レール５４ａ１を左右方向に移動させるための第１左右移動用モーター５３ｂ１が配置されている。さらに、前側の固定レール５３ａの右端には、第２移動レール５４ａ２を左右方向に移動させるための第２左右移動用モーター５３ｂ２が配置されている。

[0063] 前側の固定レール５３ａは断面がコの字状に形成されており、その内側には、第１左右移動用モーター５３ｂ１によって回転駆動される第１主動プーリーと、前側の固定レール５３ａの右端に取り付けられた第１従動プーリーと、第１主動プーリーと第１従動プーリーとの間に掛け渡された第１左右ベルトが配置されている。

[0064] さらに、前側の固定レール５３ａの内側には、第２左右移動用モーター５３ｂ２によって回転駆動される第２主動プーリーと、前側の固定レール５３ａの左端に取り付けられた第２従動プーリーと、第２主動プーリーと第２従動プーリーとの間に掛け渡された第２左右ベルトが配置されている。

[0065] 第１左右ベルトと第２左右ベルトは、前側の固定レール５３ａの内側において互いに平行となるように配置されており、第１移動レール５４ａ１は、第１連結部を介して第１左右ベルトに連結され、第２移動レール５４ａ２は、第２連結部を介して第２１左右ベルトに連結されている。

[0066] そのため、第１左右移動用モーター５３ｂ１が正転又は逆転することによって、第１左右ベルトに連結された第１移動レール５４ａ１が、固定レール５３ａに沿って左右方向に往復移動できるようになっている。同様にして、第２左右移動用モーター５３ｂ２が正転又は逆転することによって、第２左右ベルトに連結された第２移動レール５４ａ２が、その固定レール５３ａに沿って左右方向に往復移動できるようになっている。

[0067] 本実施形態においては、第１移動レール５４ａ１には、図５及び図７に示すように、左側の第１プレイエリアに対応させた第１景品取得部２０ａを吊り下げた第１吊設部５２ｂ１が、前後方向に沿って移動自在に支持されている。すなわち、第１景品取得部２０ａは、前後方向に沿って移動自在に第１移動レール５４ａ１に支持されている。

[0068] 同様に、第２移動レール５４ａ２には、右側の第２プレイエリアに対応させた第２景品取得部２０ｂを吊り下げた第２吊設部５２ｂ２が、前後方向に沿って移動自在に支持されている。すなわち、第２景品取得部２０ｂは、前後方向に沿って移動自在に第２移動レール５４ａ２に支持されている。

[0069] また、図５及び図７に示すように、第１移動レール５４ａ１の前端には、第１景品取得部２０ａを吊り下げた第１吊設部５２ｂ１を前後方向に移動させるための第１前後移動用モーター５４ｂ１が配置されている。

[0070] 同様に、第２移動レール５４ａ２の前端には、第２景品取得部２０ｂを吊り下げた第２吊設部５２ｂ２を前後方向に移動させるための第２前後移動用モーター５４ｂ２が配置されている。

[0071] 第１移動レール５４ａ１は断面がコの字状に形成されており、その内側には、第１前後移動用モーター５４ｂ１によって回転駆動される主動プーリーと、第１移動レール５４ａ１の後端に取り付けられた従動プーリーと、主動プーリーと従動プーリーとの間に掛け渡された前後ベルトが配置されている。第１吊設部５２ｂ１は、連結部を介して前後ベルトに連結されている。

[0072] そのため、第１前後移動用モーター５４ｂ１が正転又は逆転することによって、前後ベルトに連結された第１吊設部５２ｂ１と共に第１景品取得部２０ａが、第１移動レール５４ａ１に沿って前後方向に往復移動できるようになっている。

[0073] 同様に、第２移動レール５４ａ２の内側には、第２前後移動用モーター５４ｂ２によって回転駆動される主動プーリーと、第２移動レール５４ａ２の後端に配置された従動プーリーと、主動プーリーと従動プーリーとの間に掛け渡された前後ベルトが配置されている。第２吊設部５２ｂ２は、連結部を介して前後ベルトに連結されている。

[0074] そのため、第２前後移動用モーター５４ｂ２が正転又は逆転することによって、前後ベルトに連結された第２吊設部５２ｂ２と共に第２景品取得部２０ｂが、第２移動レール５４ａ２に沿って前後方向に往復移動できるようになっている。

[0075] 第１移動レール５４ａ１の左前側には、図６に示すように、第１プレイエリアの左端位置を検知する第１左端センサー５４ｃ１が取り付けられている。そして、前側の固定レール５３ａの左端には、図６に示すように、その第１左端センサー５４ｃ１を作動させる第１左端作動部５３１が取り付けられ

ている。

[0076] これにより、第１移動レール５４ａ１の左方向への移動によって第１左端作動部５３１が第１左端センサー５４ｃ１を作動させた場合に、第１移動レール５４ａ１と共に第１景品取得部２０ａは、第１プレイエリアでの左右方向の左側への移動が制限される。

[0077] 第１移動レール５４ａ１の右前側には、図６に示すように、第１プレイエリアの右端位置を検知する第１右端センサー５４ｃ２が取り付けられている。そして、前側の固定レール５３ａの中央には、図６に示すように、その第１右端センサー５４ｃ２を作動させる第１右端作動部５３２が支持されている。

[0078] これにより、第１移動レール５４ａ１の右方向への移動によって第１右端作動部５３２が第１右端センサー５４ｃ２を作動させた場合に、第１移動レール５４ａ１と共に第１景品取得部２０ａは、第１プレイエリアでの左右方向の右側への移動が制限される。

[0079] 第２移動レール５４ａ２の左前側には、図６に示すように、第２プレイエリアの左端位置を検知する第２左端センサー５４ｃ３が取り付けられている。そして、前側の固定レール５３ａの中央には、図６に示すように、その第２左端センサー５４ｃ３を作動させる第２左端作動部５３３が支持されている。

[0080] これにより、第２移動レール５４ａ２の左方向への移動によって第２左端作動部５３３が第２左端センサー５４ｃ３を作動させた場合に、第２移動レール５４ａ２と共に第２景品取得部２０ｂは、第２プレイエリアでの左右方向の左側への移動が制限される。

[0081] 第２移動レール５４ａ２の右前側には、図６に示すように、第２プレイエリアの右端位置を検知する第２右端センサー５４ｃ４が取り付けられている。そして、前側の固定レール５３ａの右端には、図６に示すように、その第２右端センサー５４ｃ４を作動させる第２右端作動部５３４が取り付けられている。

[0082] これにより、第２移動レール５４ａ２の右方向への移動によって第２右端作動部５３４が第２右端センサー５４ｃ４を作動させた場合に、第２移動レール５４ａ２と共に第２景品取得部２０ｂは、第２プレイエリアでの左右方向の右側への移動が制限される。

[0083] 第１左端センサー５４ｃ１、第１右端センサー５４ｃ２、第２左端センサー５４ｃ３、第２右端センサー５４ｃ４は、光学式のセンサーであり、発光部から照射された光を受光部が受光したか否かによって、遮蔽物体の有無を検知する。すなわち、各センサーは、各作動部が発光部と受光部との間に至ることによってこれを検知できる。

[0084] 第１左端作動部５３１と第２右端作動部５３４は、原則として取り付け位置を変更することができないものとして、前側の固定レール５３ａに固定されている。これに対して、第１右端作動部５３２と第２左端作動部５３３は、左右方向に沿って移動自在に前側の固定レール５３ａに支持されており、取り付け位置を変更できるようになっている（つまり、第１プレイエリアの右端位置及び第２プレイエリアの左端位置のそれぞれを変更できるようになっている）。

[0085] 第１右端作動部５３２は、第１作動部の一例であって、前側の固定レール５３ａに対してスライド移動可能な部材である。本実施形態の第１右端作動部５３２は、図８に示すように、左右方向の左側に突出し第１右端センサー５４ｃ２（第１センサー）から照射された光を遮る遮蔽部５３２ａと、磁石５３２ｂと、２つの車輪５３２ｃと、前後方向の前側に突出するツマミ部５３２ｄを有する。

[0086] 本実施形態では、前側の固定レール５３ａの内側の側面には左右方向に延びる凹状の溝が形成されている。前側の固定レール５３ａは、この溝に車輪を載せることによって第１右端作動部５３２を案内できるように支持している。サービス提供者（例えば、店員等）は、ツマミ部５３２ｄを操作して第１右端作動部５３２を前側の固定レール５３ａに沿って左右方向にスライド移動させることで、第１右端作動部５３２の位置を変更して第１プレイエリ

アの右端位置を調整することができる。第１右端作動部５３２は、磁石５３２ｂによって、スライド移動後に位置決めされた位置を固定可能である（第１右端作動部５３２のスライド移動後の位置を維持可能である）。

[0087] 第２左端作動部５３３は、第２作動部の一例であって、前側の固定レール５３ａに対してスライド移動可能な部材である。本実施形態の第２左端作動部５３３は、図９に示すように、左右方向の右側に突出し第２左端センサー５４ｃ３（第２センサー）から照射された光を遮る遮蔽部５３３ａと、磁石５３３ｂと、２つの車輪５３３ｃと、前後方向の前側に突出するツマミ部５３３ｄを有する。

[0088] 本実施形態では、前述した第１右端作動部５３２と同様に、第２左端作動部５３３は前側の固定レール５３ａの溝に車輪を載せることによって案内される。サービス提供者は、第１右端作動部５３２のツマミ部５３２ｄとは独立して、ツマミ部５３３ｄを操作することで、第１右端作動部５３２を前側の固定レール５３ａに沿って左右方向にスライド移動させ、第２左端作動部５３３の位置を変更して第２プレイエリアの左端位置を調整することができる。第２左端作動部５３３は、磁石５３３ｂによって、スライド移動後に位置決めされた位置を固定可能である（第２左端作動部５３３のスライド移動後の位置を維持可能である）。

[0089] このようにして、前側の固定レール５３ａは、第１移動レール５４ａ１と第２左端作動部５３３との間でのスライド移動後の位置において第１右端作動部５３２を支持することにより、第１プレイエリアの右端位置を変更可能にし、第１右端作動部５３２と第２移動レール５４ａ２との間でのスライド移動後の位置において第２左端作動部５３３を支持することにより、第２プレイエリアの左端位置を変更可能にしている。

[0090] 第１吊設部５２ｂ１の前端には、図７に示すように、第１プレイエリアの前端位置を検知する第１前端センサー５２ｄ１が取り付けられている。そして、第１移動レール５４ａ１の前端には、図７に示すように、その第１前端センサー５２ｄ１を作動させる第１前端作動部５４１が取り付けられている

。

[0091] これにより、第１吊設部５２ｂ１の前方向への移動によって第１前端作動部５４１が第１前端センサー５２ｄ１を作動させた場合に、第１吊設部５２ｂ１と共に第１景品取得部２０ａは、第１プレイエリアでの前後方向の前側への移動が制限される。

[0092] 第２吊設部５２ｂ２の前端には、図７に示すように、第２プレイエリアの前端位置を検知する第２前端センサー５２ｄ３が取り付けられている。そして、第２移動レール５４ａ２の前端には、図７に示すように、その第２前端センサー５２ｄ３を作動させる第２前端作動部５４３が取り付けられている。

[0093] これにより、第２吊設部５２ｂ２の前方向への移動によって第２前端作動部５４３が第２前端センサー５２ｄ３を作動させた場合に、第２吊設部５２ｂ２と共に第２景品取得部２０ｂは、第２プレイエリアでの前後方向の前側への移動が制限される。

[0094] 第１吊設部５２ｂ１の後端には、第１プレイエリアの後端位置を検知する第１後端センサー（不図示）が取り付けられている。そして、第１移動レール５４ａ１の後端には、図５に示すように、その第１後端センサーを作動させる第１後端作動部５４２が取り付けられている。

[0095] これにより、第１吊設部５２ｂ１の後方向への移動によって第１後端作動部５４２が第１後端センサーを作動させた場合に、第１吊設部５２ｂ１と共に第１景品取得部２０ａは、第１プレイエリアでの前後方向の後側への移動が制限される。

[0096] 第２吊設部５２ｂ２の後端には、第２プレイエリアの後端位置を検知する第２後端センサー（不図示）が取り付けられている。そして、第２移動レール５４ａ２の後端には、図５及び図７に示すように、その第２後端センサーを作動させる第２後端作動部５４４が取り付けられている。

[0097] これにより、第２吊設部５２ｂ２の後方向への移動によって第２後端作動部５４４が第２後端センサーを作動させた場合に、第２吊設部５２ｂ２と共

に第２景品取得部２０ｂは、第２プレイエリアでの前後方向の後側への移動が制限される。

[0098] 第１前端センサー５２ｄ１、第１後端センサー、第２前端センサー５２ｄ３、第２後端センサーは、光学式のセンサーであり、発光部から照射された光を受光部が受光したか否かによって、遮蔽物体の有無を検知する。すなわち、各センサーは、各作動部が発光部と受光部との間に至ることによってこれを検知できる。

[0099] 第１前端作動部５４１と第１後端作動部５４２は、原則として取り付け位置を変更することができないものとして、第１移動レール５４ａ１に固定されている。同様に、第２前端作動部５４３と第２後端作動部５４４は、原則として取り付け位置を変更することができないものとして、第２移動レール５４ａ２に固定されている。

[0100] ＜＜プレイエリアの設定について＞＞

本実施形態におけるプレイエリアの設定について、図１０乃至図１２を用いて説明する。図１０は、第１右端作動部５３２と第２左端作動部５３３を右側へ移動させた状態を示す図である。図１１は、第１右端作動部５３２を左側へ移動させ第２左端作動部５３３を右側へ移動させた状態を示す図である。図１２は、プレイエリアの設定について説明する図である。図１２Ａは、第１プレイエリアＰＡ１と第２プレイエリアＰＡ２を同じ大きさに設定した状態を示す図である。図１２Ｂは、第１プレイエリアＰＡ１よりも小さい第２プレイエリアＰＡ２を設定した状態を示す図である。図１２Ｃは、第１プレイエリアＰＡ１と第２プレイエリアＰＡ２との間に展示エリアＤＡを設定した状態を示す図である。なお、図中では、各エリアが二点鎖線を用いて図示されている。

[0101] サービス提供者（例えば、店員等）の操作により、図５に示すように、第１右端作動部５３２と第２左端作動部５３３が、それぞれ固定レール５３ａの左右方向の中央に移動した場合、第１プレイエリアの右端位置と第２プレイエリアの左端位置は、固定レール５３ａの左右方向の中央に設定されるこ

とになる。この場合、図１２Ａに示すように、第１プレイエリアＰＡ１と第２プレイエリアのＰＡ２は同じ大きさとなる。そのため、第１景品取得部２０ａと第２景品取得部２０ｂの収容空間内での可動範囲も同じ大きさになる。

[0102] また、サービス提供者の操作により、図１０に示すように、第１右端作動部５３２と第２左端作動部５３３が、それぞれ固定レール５３ａの左右方向の中央から右方向へスライド移動した場合、第１プレイエリアの右端位置と第２プレイエリアの左端位置は、固定レール５３ａの左右方向の中央から右方向へスライド移動した位置に変更されることになる。この場合、図１２Ｂに示すように、第１プレイエリアＰＡ１は第２プレイエリアのＰＡ２よりも大きくなる。そのため、図５に示す状態に比べて、第１景品取得部２０ａの収容空間内での可動範囲は拡大される一方で、第２景品取得部２０ｂの収容空間内での可動範囲は縮小されることになる。

[0103] また、サービス提供者の操作により、図１１に示すように、第１右端作動部５３２が固定レール５３ａの左右方向の中央から左方向へスライド移動すると共に、第２左端作動部５３３が固定レール５３ａの左右方向の中央から右方向へスライド移動した場合、第１プレイエリアの右端位置は、固定レール５３ａの左右方向の中央から左方向へスライド移動した位置に変更され、第２プレイエリアの左端位置は、固定レール５３ａの左右方向の中央から右方向へスライド移動した位置に変更されることになる。この場合、固定レール５３ａは、第１プレイエリアの右端位置から第２プレイエリアの左端位置まで間隔を開けるように第１右端作動部５３２及び第２左端作動部５３３を支持しているため、図１２Ｃに示すように、第１プレイエリアＰＡ１と第２プレイエリアＰＡ２との間に非プレイエリアＤＡが形成される。そのため、図５に示す状態に比べて、第１景品取得部２０ａと第２景品取得部２０ｂの収容空間内での可動範囲はそれぞれ縮小されるものの、非プレイエリアＤＡにおいて展示用の景品や装飾品等を載置したり、宣伝やゲーム説明等に用いるディスプレイ（小型モニタ）等を設置したりすることが可能となる。

[0104] ＜＜景品取得ゲーム装置１の動作について＞＞

本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の動作について、図１３を用いて説明する。図１３は、本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の動作例を説明するフローチャートである。以下では、第１プレイエリアでの動作例について具体的に説明し、第２プレイエリアについては第１プレイエリアと同様であるため説明を省略する。

[0105] 制御部１１０は、プレイ料金検出部９３がコインの投入を検出すると（ステップＳ１０１：ＹＥＳ）、予め設定された操作制限時間の計時を開始する（ステップＳ１０２）。

[0106] 次に、制御部１１０は、遊戯者がジョイスティック９１を操作したことによって、第１景品取得部２０ａを水平移動させるための操作信号を受信すると（ステップＳ１０３：ＹＥＳ）、その遊戯者の操作に従って水平移動部５１を駆動させ、第１プレイエリアにおいて第１景品取得部２０ａを水平移動させる（ステップＳ１０４）。

[0107] 本実施形態では、制御部１１０は、第１プレイエリアにおいて第１景品取得部２０ａが水平移動している際、第１移動レール５４ａ１の右方向への移動によって第１右端作動部５３２が第１右端センサー５４ｃ２を作動させた場合には、第１景品取得部２０ａを第１プレイエリアの右端位置で停止させる。また、第１吊設部５２ｂ１の後方向への移動によって第１後端作動部５４２が第１後端センサーを作動させた場合には、第１景品取得部２０ａを第１プレイエリアの後端位置で停止させる。また、第１移動レール５４ａ１の左方向への移動によって第１左端作動部５３１が第１左端センサー５４ｃ１を作動させた場合には、第１景品取得部２０ａを第１プレイエリアの左端位置で停止させる。また、第１吊設部５２ｂ１の前方向への移動によって第１前端作動部５４１が第１前端センサー５２ｄ１を作動させた場合には、第１景品取得部２０ａを第１プレイエリアの前端位置で停止させる。

[0108] その一方で、制御部１１０は、遊戯者がジョイスティック９１を操作しない場合には（ステップＳ１０２：ＮＯ）、操作制限時間が経過したか否かを

判定する（ステップＳ１０６）。そして、操作制限時間が経過していない場合（ステップＳ１０６：ＮＯ）、ステップＳ１０３の処理へ戻る。操作制限時間が経過した場合には（ステップＳ１０６：ＹＥＳ）、第１景品取得部２０ａを停止させる（ステップＳ１０７）。

[0109] 次に、制御部１１０は、遊戯者が操作ボタン９２を操作したことによって、第１景品取得部２０ａの水平移動後の位置を決定するための操作信号を受信した場合に（ステップＳ１０５：ＹＥＳ）、その水平移動後の位置で第１景品取得部２０ａを停止させる（ステップＳ１０７）。

[0110] その一方で、制御部１１０は、遊戯者が操作ボタン９２を操作しない場合には（ステップＳ１０３：ＮＯ）、操作制限時間が経過したか否かを判定する（ステップＳ１０６）。そして、操作制限時間が経過していない場合（ステップＳ１０６：ＮＯ）、ステップＳ１０３の処理へ戻る。操作制限時間が経過した場合には（ステップＳ１０６：ＹＥＳ）、第１景品取得部２０ａを停止させる（ステップＳ１０７）。

[0111] 次に、制御部１１０は、第１景品取得部２０ａが停止すると（ステップＳ１０７）、鉛直移動部５２を駆動させ、その第１プレイエリアでの停止位置において第１景品取得部２０ａを下降させる（ステップＳ１０８）。

[0112] 制御部１１０は、下限センサーによって第１景品取得部２０ａの下降が止まった状態になったことが検知されると（ステップＳ１０９：ＹＥＳ）、第１景品取得部２０ａを停止させる（ステップＳ１１０）。

[0113] 次に、制御部１１０は、第１景品取得部２０ａが停止した状態にあるときに（ステップＳ１１０）、駆動部３５によってアーム部２５を閉じる方向に回転駆動させる（ステップＳ１１１）。

[0114] 次に、制御部１１０は、第１景品取得部２０ａのアーム部２５が閉じた状態にあるときに（ステップＳ１１１）、鉛直移動部５２を駆動させて第１景品取得部２０ａを上昇させる（ステップＳ１１２）。

[0115] 制御部１１０は、上限センサーによって第１景品取得部２０ａの上昇が止まった状態になったことが検知されると（ステップＳ１１３：ＹＥＳ）、第

１景品取得部２０ａを停止させる（ステップＳ１１４）。

[0116] 次に、制御部１１０は、水平移動部５１を駆動させることによって第１景品取得部２０ａをホームポジションへ向かって移動させ（ステップＳ１１５）、ホームポジションに到達したか否かを判定する（ステップＳ１１６）。

[0117] 本実施形態では、制御部１１０は、第１移動レール５４ａ１の左方向への移動によって第１左端作動部５３１が第１左端センサー５４ｃ１を作動させると共に、第１吊設部５２ｂ１の前方向への移動によって第１前端作動部５４１が第１前端センサー５２ｄ１を作動させた場合に、第１景品取得部２０ａがホームポジションに到達したものとして判定する。

[0118] 次に、制御部１１０は、第１景品取得部２０ａがホームポジションに位置した場合に（ステップＳ１１６：ＹＥＳ）、駆動部３５によってアーム部２５を開く方向に回転駆動させる（ステップＳ１１７）。

[0119] 以上のとおり、実施形態に係る景品取得ゲーム装置１によれば、サービス提供者は、固定レール５３ａに沿って第１右端作動部５３２（第１作動部）及び第２左端作動部５３３（第２作動部）ぞれぞれの左右方向の位置を調整することで、第１プレイエリア及び第２プレイエリアの大きさを個別に変更にすることが可能となる。そして、大きさが変更された第１プレイエリア及び第２プレイエリアのそれぞれにおいて、第１景品取得部２０ａ及び第２景品取得部２０ｂそれぞれの収容空間内での可動範囲を制限することが可能となる。

[0120] ＝＝＝その他の実施形態＝＝＝

上記の実施形態は、本発明の理解を容易にするためのものであり、本発明を限定して解釈するためのものではない。本発明は、その趣旨を逸脱することなく、変更、改良され得ると共に、本発明にはその等価物も含まれる。特に、以下に述べる実施形態であっても、本発明に含まれるものである。すなわち、本発明は、上記の実施形態と以下に述べる実施形態を適宜組み合わせて構成することも可能である。

[0121] また、上記の実施形態に開示されている複数の発明特定事項の適宜組み合

わせて、種々の発明を構成することも可能である。例えば、上記の実施形態に開示される全発明特定事項からいくつかの発明特定事項を削除して発明を構成してもよいし、上記の実施形態に開示される全発明特定事項に対して以下に述べる実施形態に開示される発明特定事項を適宜組み合わせて発明を構成しても良い。

[0122] ＜景品＞

上記の実施形態では、収容部１０に収容される景品には、遊戯者が直接的に獲得し得る物品（例えば、ぬいぐるみ等）に限らず、ゲームでの取得対象として収容された物品であって取得後に他の景品と交換可能な物品や、物品自体の提供は行わず得点や順位を競うために用いるものが含まれる。

[0123] ＜アーム＞

上記の実施形態では、３本のアーム部２５を有する景品取得部２０を一例として説明したが、本発明はこれに限定されるものではない。例えば、本発明は、２本以下のアーム部２５を有する景品取得部２０や、４本以上のアーム部２５を有する景品取得部２０にも適用できる。

[0124] ＜可動式の作動部＞

上記の実施形態では、第１右端作動部５３２（第１作動部）及び第２左端作動部５３３（第２作動部）ぞれぞれが、固定レール５３ａに沿ってスライド移動して左右方向の位置を変更できる場合を例に挙げて説明したが、本発明はこれに限られるものではなく、図１４に示すように、第１右端作動部５３２（第１作動部）と第２左端作動部５３３（第２作動部）を一体型にした作動部５３５でも良い。

[0125] この場合、一体型の作動部５３５は、第１移動レール５４ａ１と第２移動レール５４ａ２との間でスライド移動可能に固定レール５３ａに支持されることになる。そして、第１右端センサー５４ｃ２（第１センサー）及び第２左端センサー５４ｃ３（第２センサー）は、第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置を検知するセンサーとして機能することになる。そのため、サービス提供者は、固定レール５３ａに沿って一体型の作動部の左右方向

の位置を調整することで、第１プレイエリア及び第２プレイエリアの大きさを同時に変更にすることが可能となる。

[0126] また、上記の実施形態では、第１右端作動部５３２（第１作動部）及び第２左端作動部５３３（第２作動部）ぞれぞれが、２つの車輪を有する場合を例に挙げて説明したが、本発明はこれに限られるものではない。例えば、車輪を有さない第１右端作動部５３２（第１作動部）及び第２左端作動部５３３（第２作動部）ぞれぞれを、前側の固定レール５３ａの内側にある溝に対して摺動可能に嵌め込む構造にしてもよい。

[0127] ＜可動式のセンサー＞

上記の実施形態では、第１右端センサー５４ｃ２（第１センサー）及び第２左端センサー５４ｃ３（第２センサー）ぞれぞれが、固定レール５３ａに沿ってスライド移動して左右方向の位置を変更できるようにしても良い。

[0128] この場合、第１移動レール５４ａ１の右前側に、第１右端センサー５４ｃ２に代えて第１右端作動部５３２（第１作動部）を取り付け、第２移動レール５４ａ２の左前側に、第２左端センサー５４ｃ３に代えて第２左端作動部５３３（第２作動部）を取り付ける。これにより、サービス提供者は、固定レール５３ａに沿って第１右端センサー５４ｃ２（第１センサー）及び第２左端センサー５４ｃ３（第２センサー）ぞれぞれの左右方向の位置を調整することで、第１プレイエリア及び第２プレイエリアの大きさを個別に変更にすることが可能となる。

[0129] なお、第１右端センサー５４ｃ２（第１センサー）と第２左端センサー５４ｃ３（第２センサー）を一体型にしても良い。

[0130] ＜前端作動部・後端作動部＞

上記の実施形態では、第１前端作動部５４１と第１後端作動部５４２ぞれぞれが、第１移動レール５４ａ１に沿って前後方向の位置を変更できるようにすることも可能である。同様にして、第２前端作動部５４３と第２後端作動部５４４ぞれぞれが、第２移動レール５４ａ２に沿って前後方向の位置を変更できるようにすることも可能である。

この場合、例えば、第１移動レール５４ａ１と第２移動レール５４ａ２それぞれに、前後方向に沿って等間隔で複数のネジ穴を形成し、変更後の位置で前端作動部・後端作動部を取り付けられるようにする。

符号の説明

[0131] １　景品取得ゲーム装置１０　収容部１１　開閉扉１２　柱部２０　景品取得部２０ａ　第１景品取得部２０ｂ　第２景品取得部２１　ベース部２２　突出部２５　アーム部２８　アーム連結部２９　アーム２９Ａ　第１のアーム２９Ｂ　第２のアーム２９Ｃ　第３のアーム３０　爪３５　駆動部３５Ａ　第１の駆動部３５Ａａ　アーム開閉用モーター３５Ａｂ　ギアボックス３５Ｂ　第２の駆動部３５Ｂａ　アーム開閉用モーター３５Ｂｂ　ギアボックス３５Ｃ　第３の駆動部３５Ｃａ　アーム開閉用モーター３５Ｃｂ　ギアボックス５０　移動部５１　水平移動部５２　鉛直移動部５２ａ　昇降部５２ｂ　吊設部５２ｂ１　第１吊設部５２ｂ２　第２吊設部５２ｄ１　第１前端センサー５２ｄ３　第２前端センサー５３　左右移動部５３ａ　固定レール５３ｂ　左右移動用モーター５３ｂ１　第１左右移動用モーター５３ｂ２　第２左右移動用モーター５４　前後移動部５４ａ　移動レール５４ａ１　第１移動レール５４ａ２　第２移動レール５４ｂ　前後移動用モーター５４ｂ１　第１前後移動用モーター５４ｂ２　第２前後移動用モーター５４ｃ１　第１左端センサー５４ｃ２　第１右端センサー５４ｃ３　第２左端センサー５４ｃ４　第２右端センサー６０　展示部６１　支持部６２　第１景品載置部６３　第２景品載置部７１　開口領域７２　落下口領域８０　基台部９０　操作部９１　ジョイスティック９２　操作ボタン９３　プレイ料金検出部９４　コイン投入口９６　景品取出口１００　設定部１０１　設定操作部１０２　表示部１１０　制御部１１１　ＣＰＵ１１２　メモリー１２０　記憶部５３１　第１左端作動部５３２　第１右端作動部５３２ａ　遮蔽部５３２ｂ　磁石５３２ｃ　車輪５３２ｄ　ツマミ部５３３　第２左端作動部５３３ａ　遮蔽部５３３ｂ　磁石５３３ｃ　車輪５３３ｄ　ツマミ部５３４　第２右端作動部５３５　作動部５４１　第１前端作動部５４２　第１後端作動部

５４３　第２前端作動部５４４　第２後端作動部

請求の範囲

[請求項1] 景品を収容する収納空間内で左右に隣り合う左側の第１プレイエリア及び右側の第２プレイエリアに跨って左右方向に延在する固定レールと、

前記第１プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１移動レールと、

前後方向に沿って移動自在に前記第１移動レールに支持された第１景品取得部と、

前記第１移動レールに取付けられ、第１プレイエリアの右端位置を検知する第１センサーと、

前記第１センサーを作動させる第１作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１作動部と、

前記第２プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２移動レールと、

前後方向に沿って移動自在に前記第２移動レールに支持された第２景品取得部と、

前記第２移動レールに取付けられ、第２プレイエリアの左端位置を検知する第２センサーと、

前記第２センサーを作動させる第２作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２作動部と、

を備え、

前記固定レールは、前記第１移動レールと前記第２作動部との間での移動後の位置において前記第１作動部を支持することにより、第１プレイエリアの右端位置を変更可能にし、前記第１作動部と前記第２移動レールとの間での移動後の位置において前記第２作動部を支持することにより、第２プレイエリアの左端位置を変更可能にする、

ことを特徴とする景品取得ゲーム装置。

[請求項2] 前記第１移動レールの左右方向に沿う移動によって第１作動部が第１センサーを作動させた場合に、前記第１移動レールを第１プレイエリアの右端位置で停止させ、前記第２移動レールの左右方向に沿う移動によって第２作動部が第２センサーを作動させた場合に、前記第２移動レールを第２プレイエリアの左端位置で停止させる制御部と、

を備えたことを特徴とする請求項１に記載の景品取得ゲーム装置。

[請求項3] 前記固定レールは、第１プレイエリアの右端位置から第２プレイエリアの左端位置まで間隔を開けるように第１作動部及び第２作動部を支持することにより、第１プレイエリアと第２プレイエリアとの間に非プレイエリアを形成可能にする、

ことを特徴とする請求項１又は２に記載の景品取得ゲーム装置。

[請求項4] 前記固定レールは、前記第１作動部及び前記第２作動部を左右方向に沿ってスライド移動可能に支持し、

前記第１作動部及び前記第２作動部は、スライド移動後の位置において磁石によって前記固定レールに位置決めされる、

ことを特徴とする請求項１又は２に記載の景品取得ゲーム装置。

[請求項5] 景品を収容する収納空間内で左右に隣り合う左側の第１プレイエリア及び右側の第２プレイエリアに跨って左右方向に延在する固定レールと、

前記第１プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１移動レールと、

前後方向に沿って移動自在に前記第１移動レールに支持された第１景品取得部と、

前記第２プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２移動レールと、

前後方向に沿って移動自在に前記第２移動レールに支持された第２景品取得部と、

前記第１移動レールに取付けられ、第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置を検知する第１センサーと、

前記第２移動レールに取付けられ、第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置を検知する第２センサーと、

前記第１センサー及び前記第２センサーを作動させる作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された作動部と、

を備え、

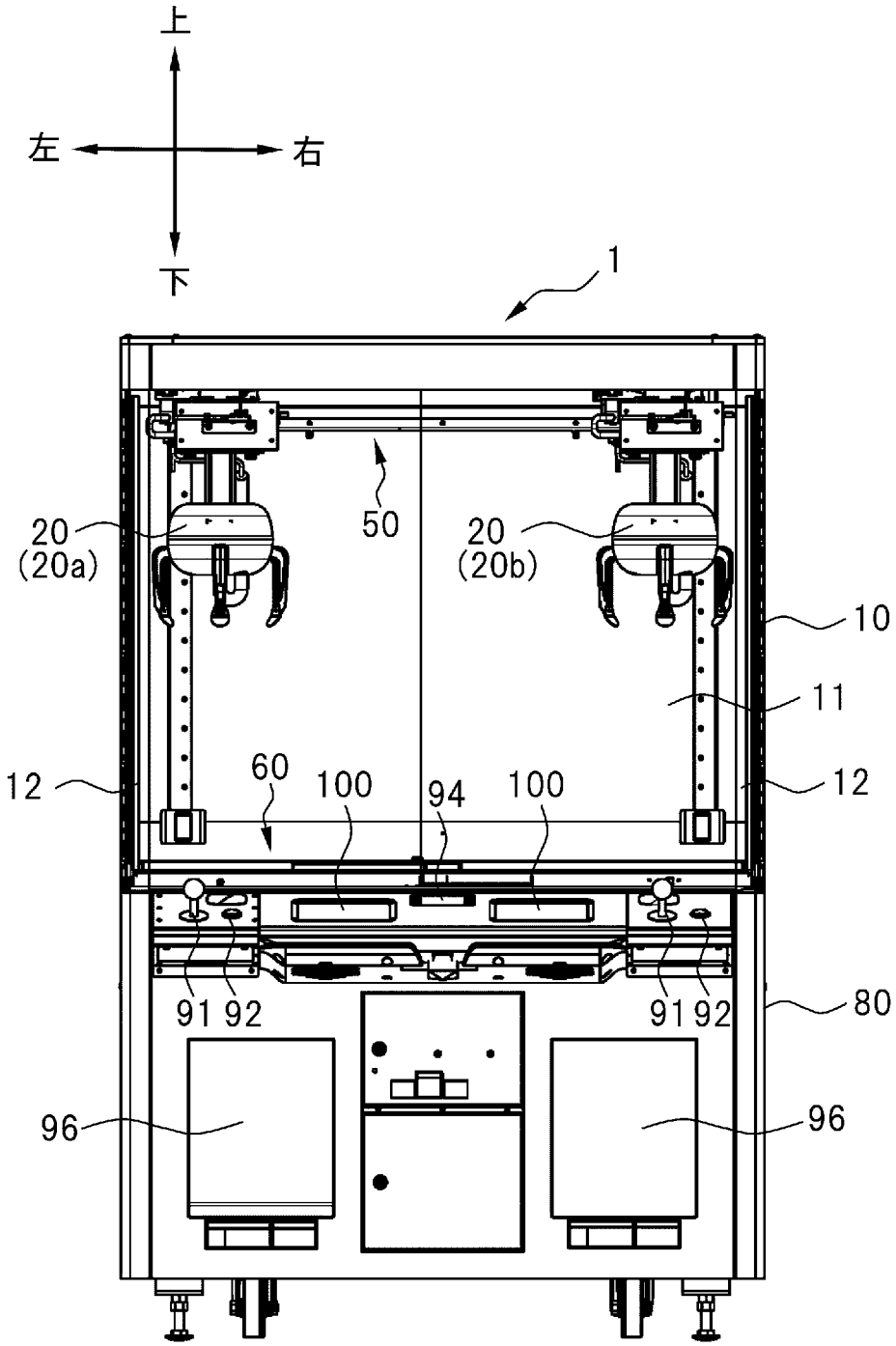
前記固定レールは、前記第１移動レールと前記第２移動レールとの間での移動後の位置において前記作動部を支持することにより、第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置を変更可能にする、

ことを特徴とする景品取得ゲーム装置。

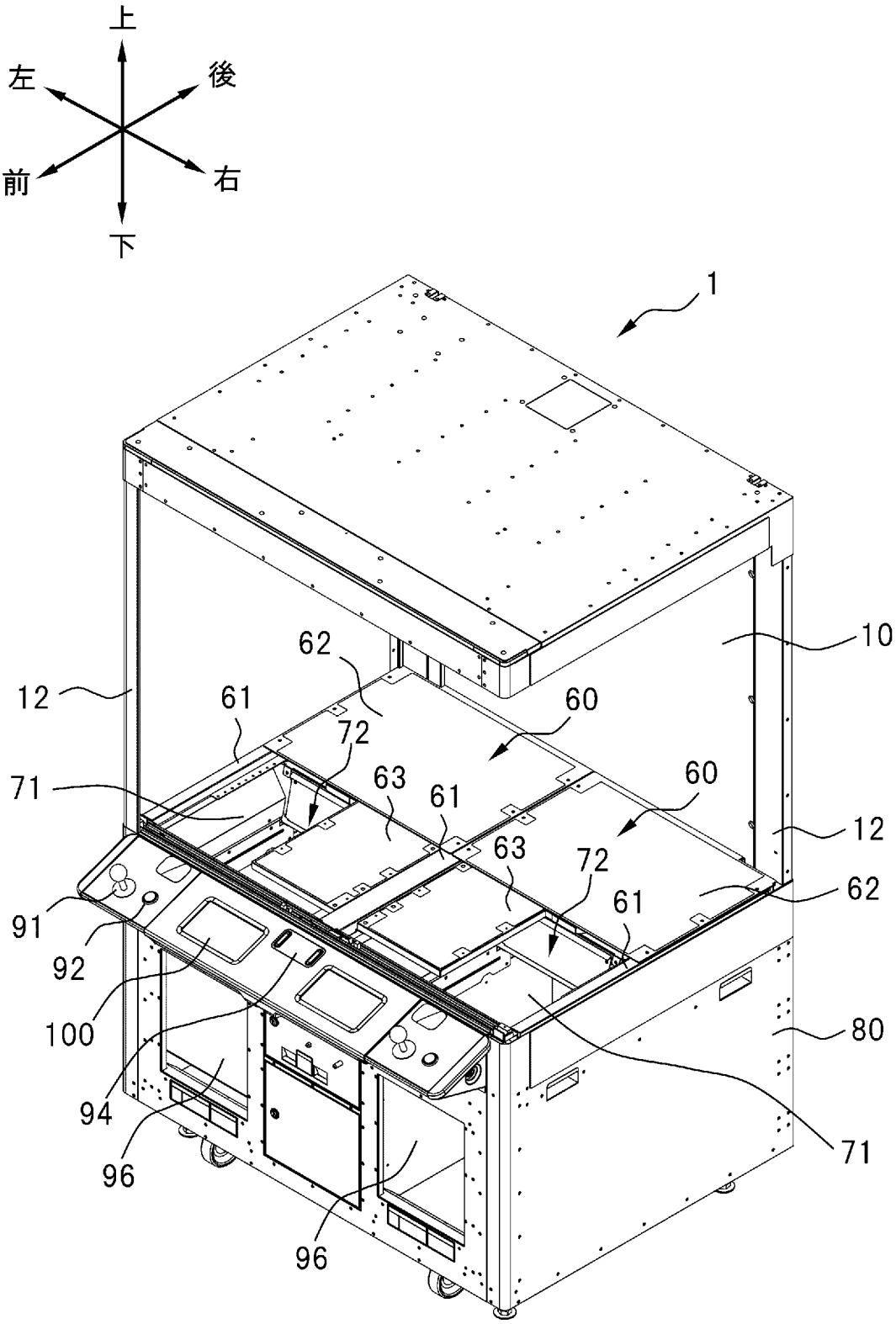
[請求項6] 前記第１移動レールの左右方向に沿う移動によって作動部が第１センサーを作動させた場合に、前記第１移動レールを第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置で停止させ、前記第２移動レールの左右方向に沿う移動によって作動部が第２センサーを作動させた場合に、前記第２移動レールを第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置で停止させる制御部と、

を備えたことを特徴とする請求項５に記載の景品取得ゲーム装置。

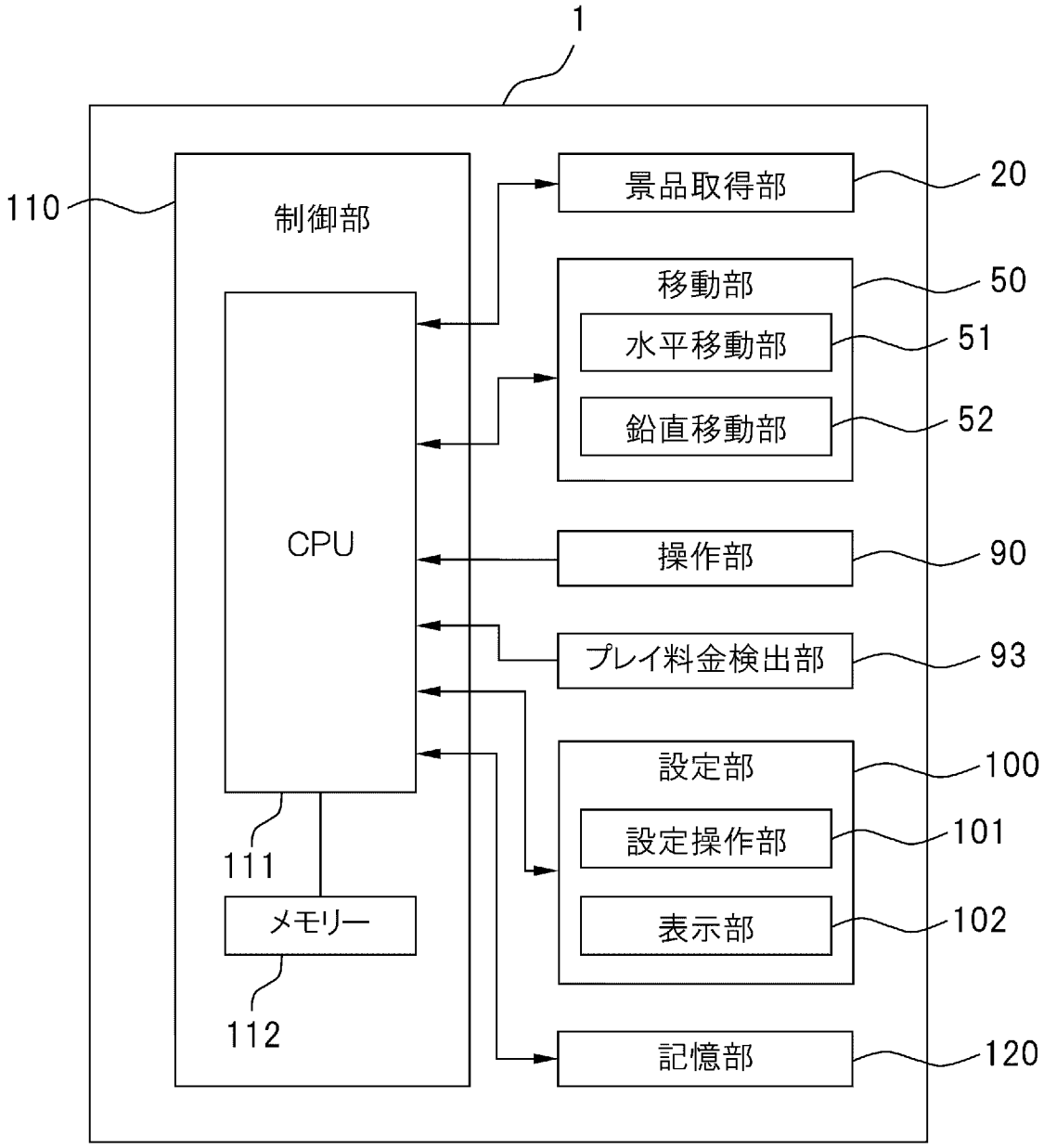
[図1]



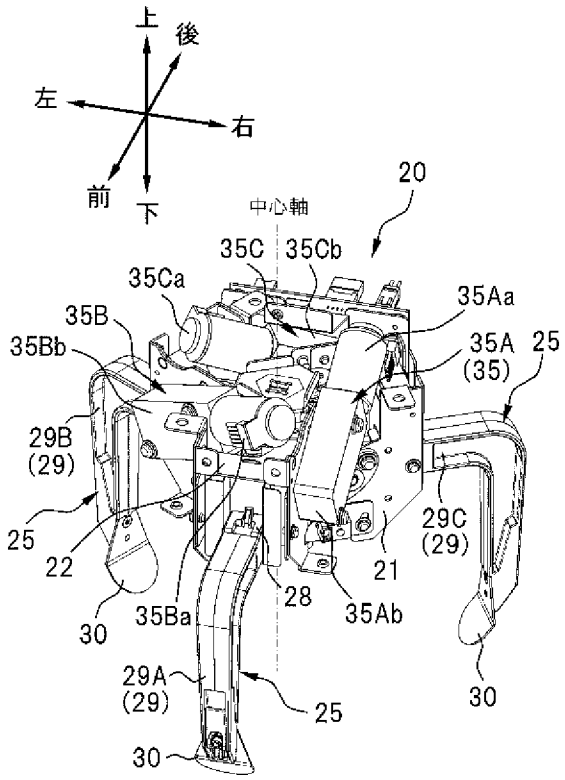
[図2]



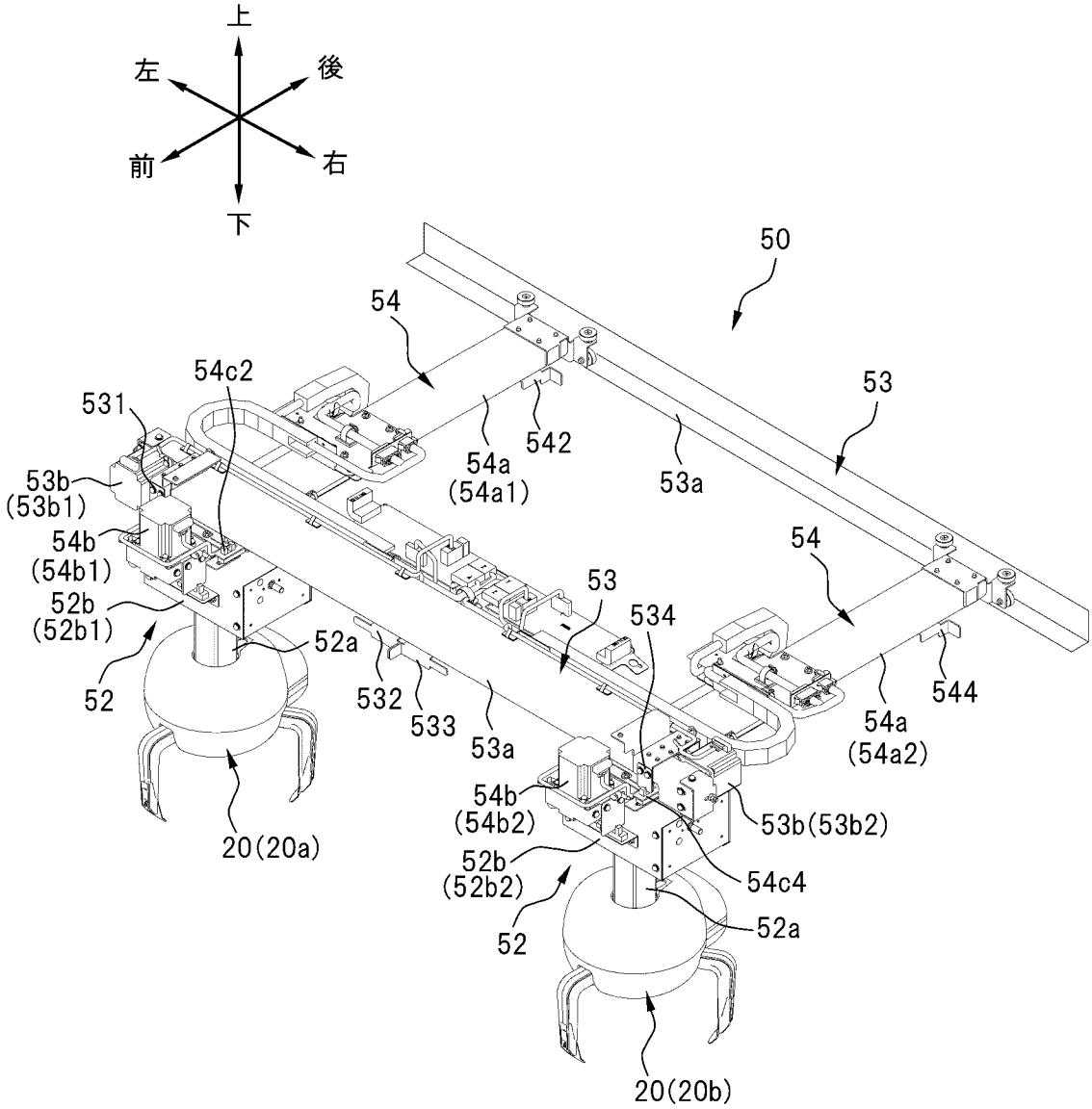
[図3]


1
110
制御部
CPU
111
メモリー
112
景品取得部
20
移動部
50
水平移動部
51
鉛直移動部
52
操作部
90
プレイ料金検出部
93
設定部
100
設定操作部
101
表示部
102
記憶部
120

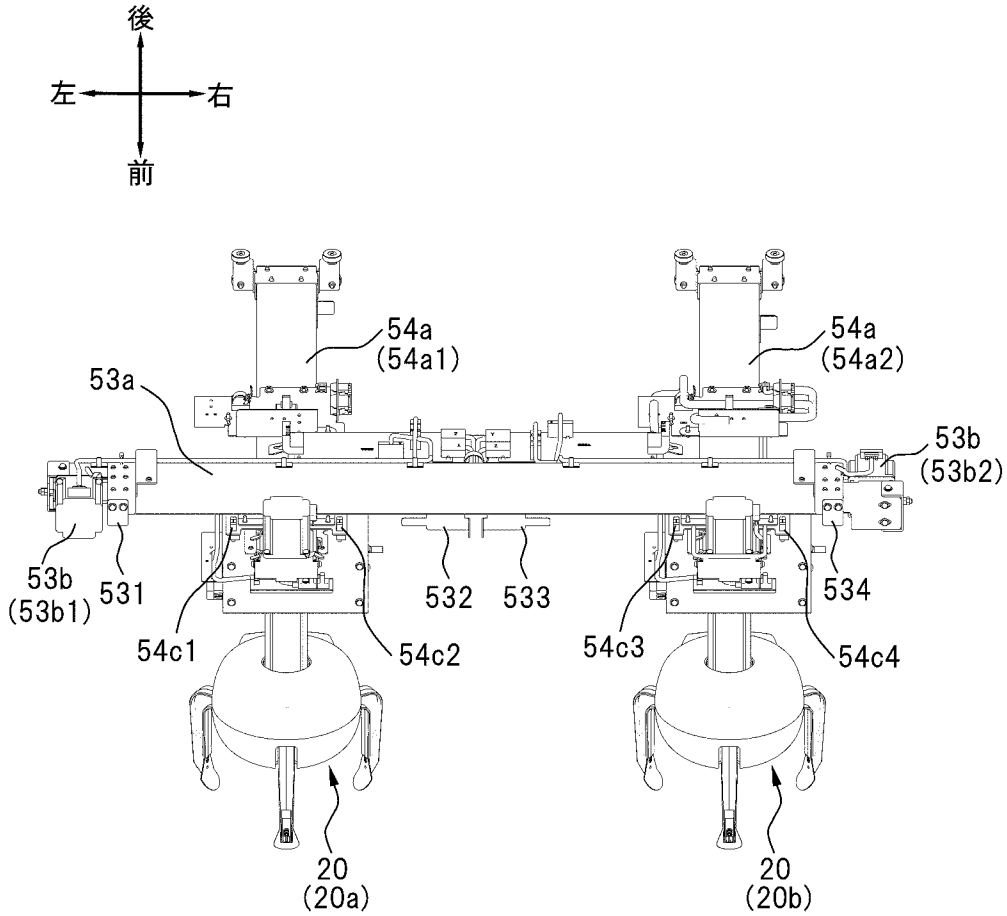
[図4]


上
後
左
右
前
下
中心軸
20
35C
35Cb
35Ca
35Aa
35B
35Bb
35A
(35)
25
29B
(29)
25
22
29C
(29)
21
28
35Ab
30
35Ba
29A
(29)
25
30
30

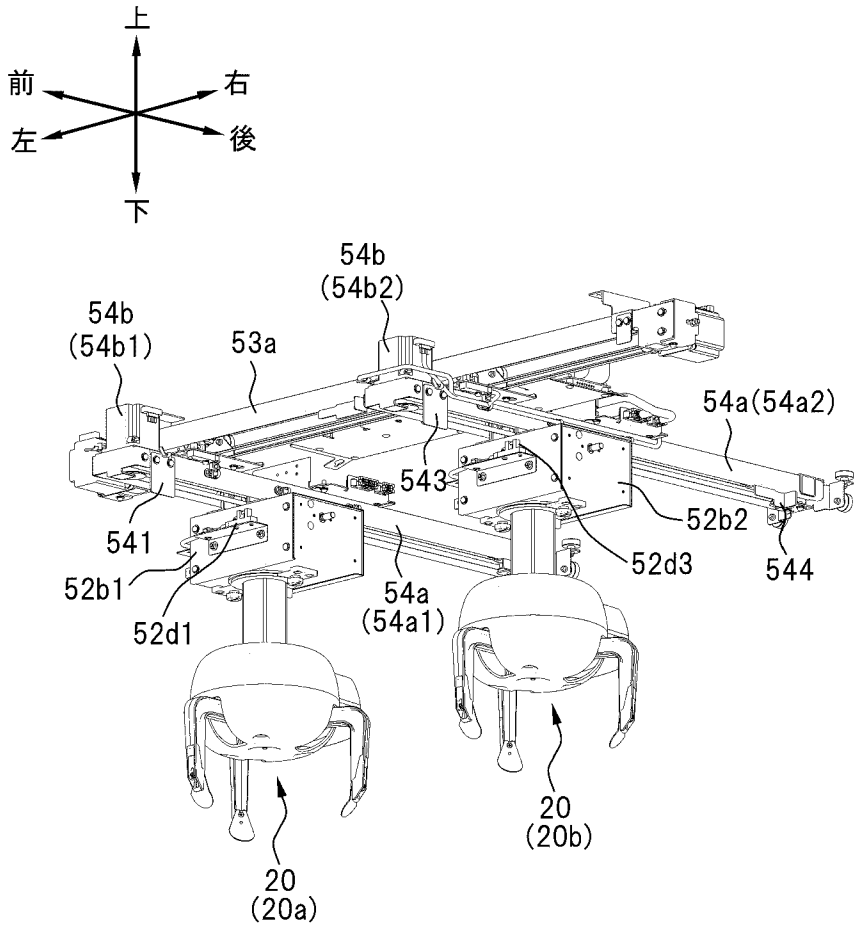
[図5]


上
左
後
前
右
下
50
54
54c2
531
53
542
54a
(54a1)
53a
53b
(53b1)
54b
(54b1)
52b
(52b1)
52
52a
532
533
53a
53
534
54
544
54a
(54a2)
54b
(54b2)
53b(53b2)
52b
(52b2)
54c4
52a
52
20(20a)
20(20b)

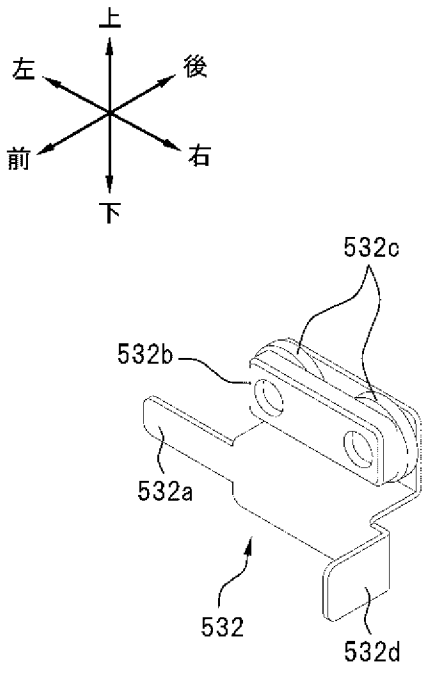
[図6]


後
左
右
前
54a
(54a1)
54a
(54a2)
53a
53b
(53b2)
53b
(53b1)
531
532
533
534
54c1
54c2
54c3
54c4
20
(20a)
20
(20b)

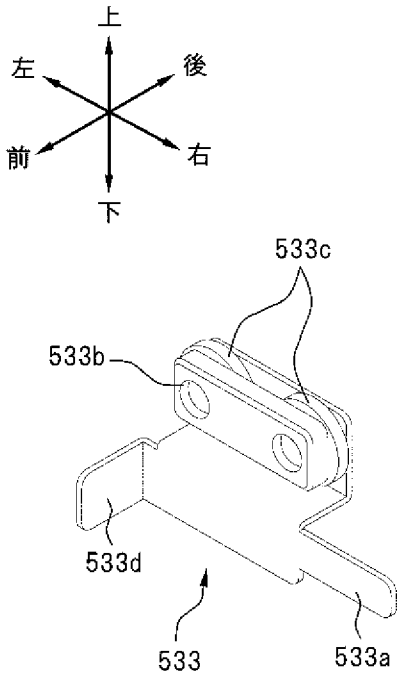
[図7]


上
前
右
左
後
下
54b
(54b2)
54b
(54b1)
53a
54a(54a2)
543
52b2
541
52d3
544
52b1
54a
(54a1)
52d1
20
(20b)
20
(20a)

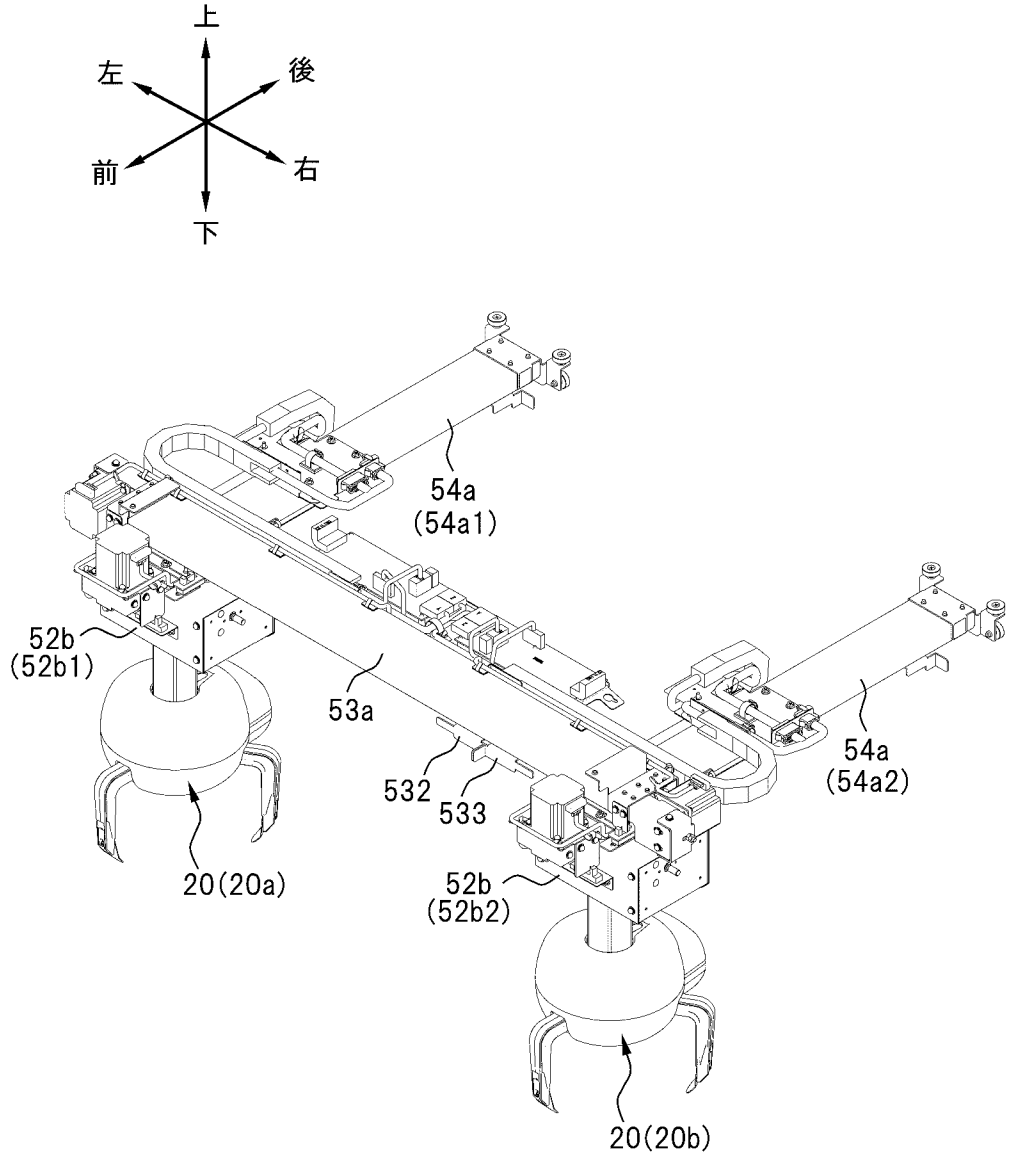
[図8]


上
左
後
前
右
下
532c
532b
532a
532
532d

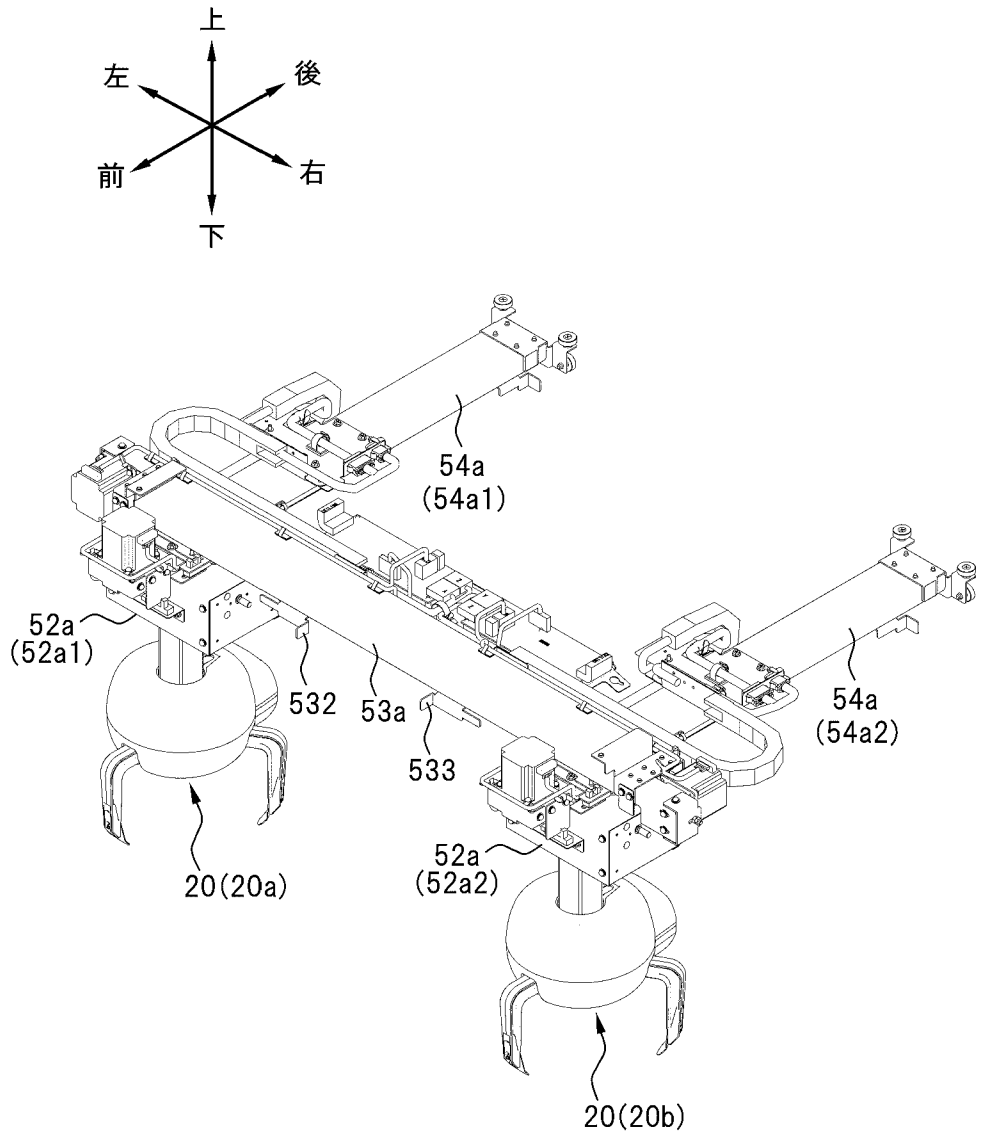
[図9]



[図10]


上
左
後
前
右
下
54a
(54a1)
52b
(52b1)
53a
532
533
54a
(54a2)
20(20a)
52b
(52b2)
20(20b)

[図11]


上
左
後
前
右
下
54a
(54a1)
52a
(52a1)
532
53a
533
54a
(54a2)
52a
(52a2)
20(20a)
20(20b)

[図12]

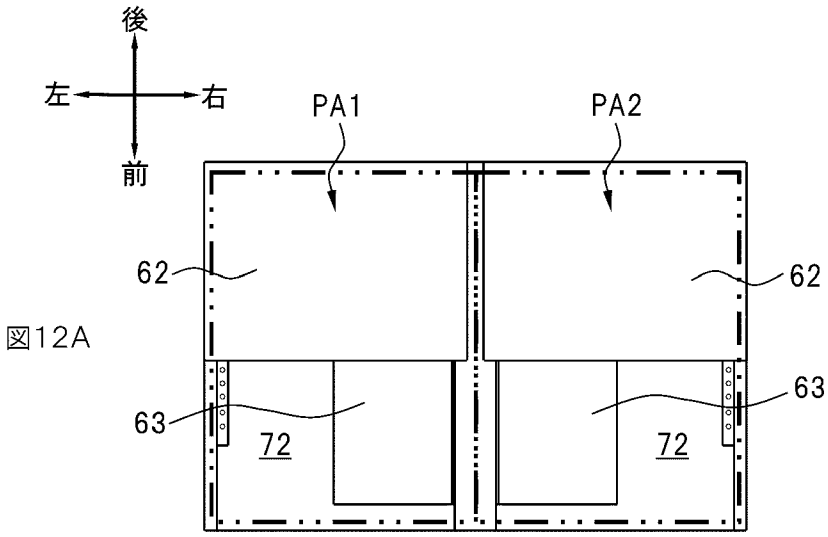


図12A

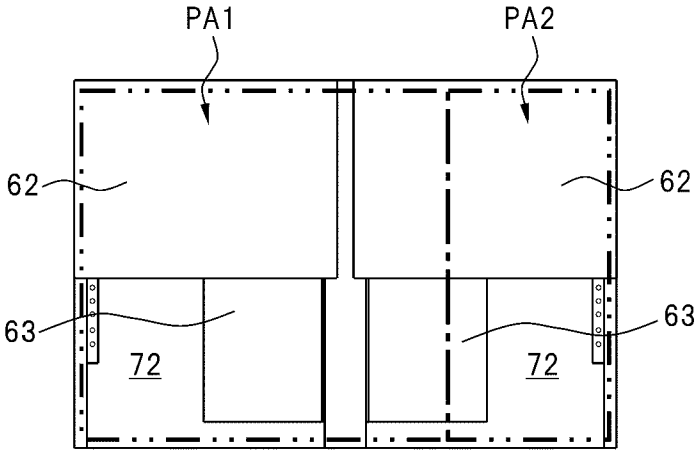


図12B

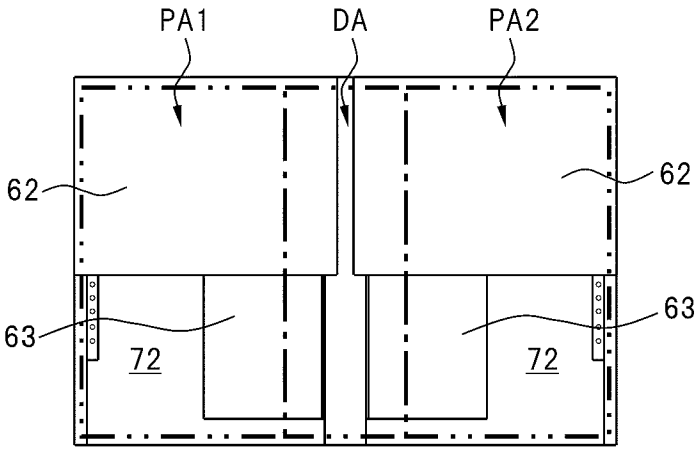
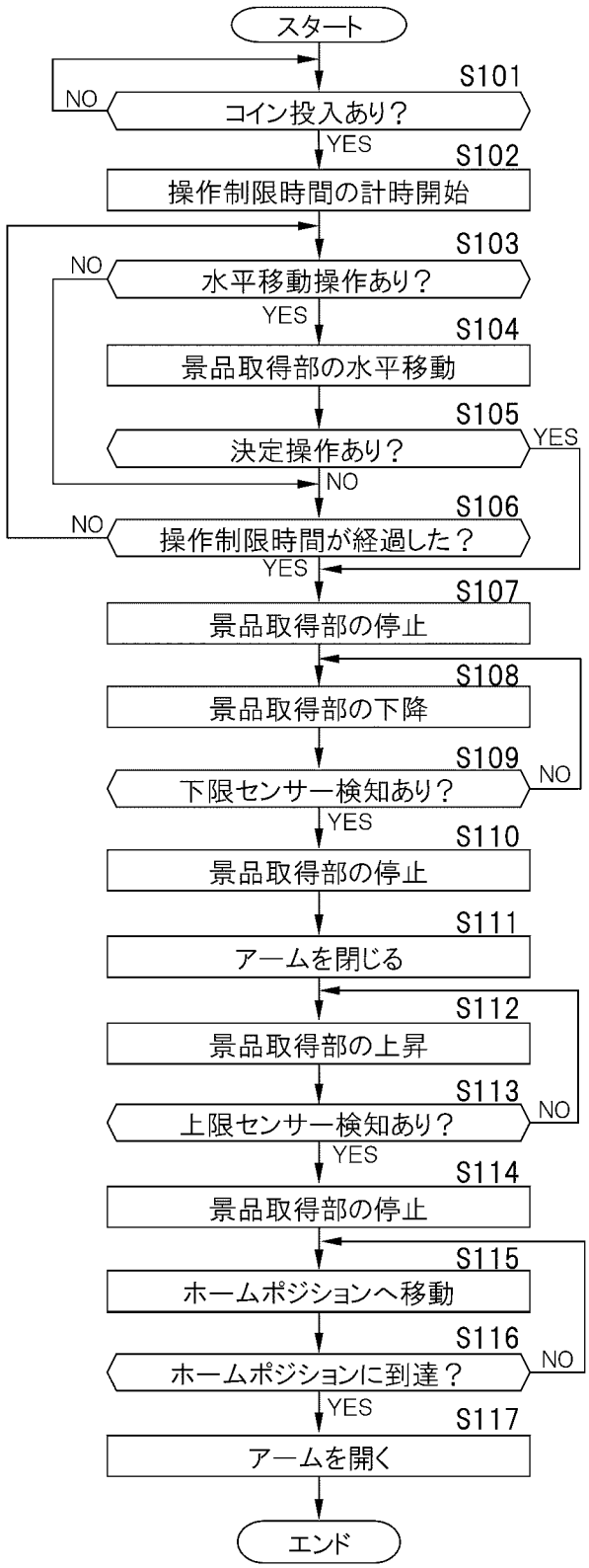
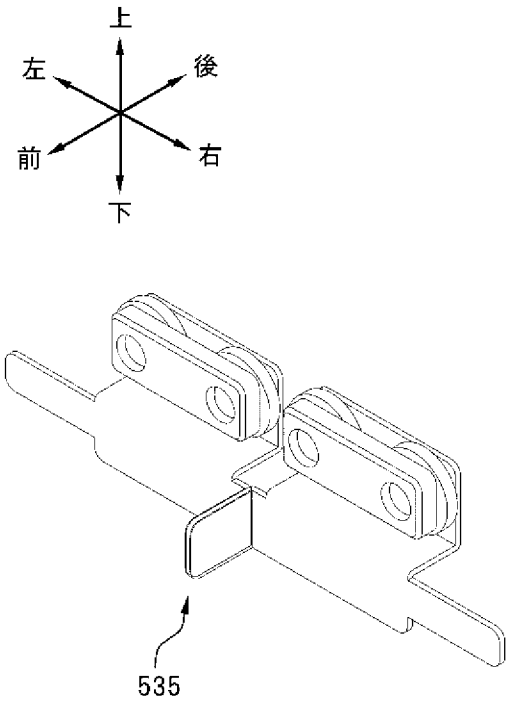


図12C

[図13]


スタート
S101
コイン投入あり？
NO
YES
S102
操作制限時間の計時開始
S103
水平移動操作あり？
NO
YES
S104
景品取得部の水平移動
S105
決定操作あり？
YES
NO
S106
操作制限時間が経過した？
NO
YES
S107
景品取得部の停止
S108
景品取得部の下降
S109
下限センサー検知あり？
NO
YES
S110
景品取得部の停止
S111
アームを閉じる
S112
景品取得部の上昇
S113
上限センサー検知あり？
NO
YES
S114
景品取得部の停止
S115
ホームポジションへ移動
S116
ホームポジションに到達？
NO
YES
S117
アームを開く
エンド

[図14]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2023/041539

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

A63F 9/30(2006.01)i
FI: A63F9/30 502C

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A63F9/30

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan 1922-1996
Published unexamined utility model applications of Japan 1971-2024
Registered utility model specifications of Japan 1996-2024
Published registered utility model applications of Japan 1994-2024

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2002-239208 A (ARUZE CORP.) 27 August 2002 (2002-08-27) paragraphs [0023], [0027]-[0041], [0044]-[0047], [0055], [0056], [0086], [0093], fig. 1-3, 5, 7	1-6
Y	JP 52-108226 A (USHIO SANGIYOU KK) 10 September 1977 (1977-09-10) p. 2, upper left column, lines 2-6, upper right column, lines 4-6, p. 3, upper left column, lines 3-8, fig. 1, 2	1-6
Y	JP 11-239669 A (SEGA ENTERP LTD.) 07 September 1999 (1999-09-07) paragraphs [0041], [0097], fig. 3	1-6
Y	JP 2006-122510 A (SEGA CORP.) 18 May 2006 (2006-05-18) paragraphs [0024], [0038], fig. 7	1-6
Y	JP 2012-254223 A (SEGA CORP.) 27 December 2012 (2012-12-27) paragraphs [0029], [0031], [0035], fig. 5	4

☑ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☑ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
"D" document cited by the applicant in the international application
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report
22 January 2024	**30 January 2024**
Name and mailing address of the ISA/JP **Japan Patent Office (ISA/JP)** **3-4-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915** **Japan**	Authorized officer Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2023/041539

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2013-90863 A (TOSO CO., LTD.) 16 May 2013 (2013-05-16) paragraphs [0001], [0035], fig. 1	4

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2023/041539

Box No. III Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 3 of first sheet)

This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:

Document 1: JP 2002-239208 A (ARUZE CORP.) 27 August 2002 (2002-08-27) paragraphs [0023], [0027]-[0041], [0044]-[0047], [0055], [0056], [0086], fig. 1-3, 5, 7 (Family: none)

Document 2: JP 52-108226 A (USHIO SANGIYOU KK) 10 September 1977 (1977-09-10) p. 2, upper left column, lines 2-6, upper right column, lines 4-6, p. 3, upper left column, lines 3-8, fig. 1, 2 (Family: none)

Document 3: JP 11-239669 A (SEGA ENTERP LTD.) 07 September 1999 (1999-09-07) paragraphs [0041], [0097], fig. 3 (Family: none) Document 4: JP 2006-122510 A (SEGA CORP.) 18 May 2006 (2006-05-18) paragraphs [0024], [0038], fig. 7 & US 2008/0001360 A1 paragraphs [0032], [0046], fig. 7 & EP 1834678 A1 & KR 10-2007-0083690 A & CN 101052445 A

Claims are classified into the following two inventions.
(Invention 1) For the invention in claim 1, document 1 (paragraphs [0023], [0027]-[0041], [0044]-[0047], [0055], [0056], [0086], fig. 1-3, 5, 7) discloses the invention of a crane game machine (a "prize winning game device") comprising: an X-axis slide shaft 18 (corresponding to a "fixed rail" in claim 1); 1P and 2P Y-axis units 40 and 70 (a "first moving rail" and a "second moving rail"); cranes 5a and 5b (a "first prize acquisition part" and a "second prize acquisition part"); a 1P side-micro switch 48 (a "first sensor"); a 2P side-micro switch 78 (a "second sensor"); and limiters 102 and 104 provided on the inner surface of a housing 1, wherein the position of the end of each play region is changed by changing the position of the limiter.

In the invention described in document 1, the X-axis slide shaft 18 (the "fixed rail") does not support the limiters 102 and 104. For example, document 2 (p. 2, upper left column, lines 2-6, upper right column, lines 4-6, p. 3, upper left column, lines 3-8, fig. 1, 2) discloses a prize winning game device comprising: a rail 6 (a "fixed rail") having a stopper 22 (an "operating part") and a crane body 7 (a "moving rail") having a limit switch 20 (a "sensor"). Document 3 (paragraphs [0041], [0097], fig. 3) discloses a prize winning game device comprising: a fixed rail 21 (a "fixed rail") having an optical sensor 31 (a "sensor"); and a moving rail 41 (a "moving rail") having an actuator 34 (an "operating part"), wherein the actuator is provided on the side for guiding a moving object and the optical sensor is provided on the side of the moving object, that is, the actuator is provided on the fixed rail and the optical sensor is provided on the moving rail. Document 4 (paragraphs [0024], [0038], fig. 7) discloses a prize winning game device provided with a fixed rail 32A (a "fixed rail") having a light emitting sensor 32a1 (an "operating part"), wherein a light receiving sensor 32b (a "sensor") is provided on the side of a moving rail 32B (a "moving rail"). As described above, the configuration in which the movement range of the moving rail is set by the sensor provided on the moving rail and the operating part supported by the fixed rail is a well-known art in the field of prize winning game devices. Therefore, in the invention described in document 1, the feature, in which an X-axis shaft 18 (a "fixed rail") supports limiters 102 and 104 (a "first operating part" and a "second operating part") so as to operate a 1P side-micro switch 48 or a 2P-side micro switch 78, is derived only by adding a well-known feature or simply modifying design.

Therefore, no special technical features are found in the invention in claim 1.

Also, the 1P and 2P Y-axis units 40 and 70 (the "first moving rail" and the "second moving rail") described in document 1 are controlled to stop at the end positions of respective play regions, when the 1p side-micro switch 48 (the "first sensor") operates the limiter 102 or when the 2P side-micro switch 78 (the "the second sensor") operates the limiter 104. In addition, a "non-play region" can be formed between the limiter 102 and the limiter 104 in the invention described in document 1, and thus, no special technical features are found in the invention in claims 2 and 3.

Also, a special technical feature, in which "a fixed rail supports a first operating part and a second operating part so as to be slidable in the left-right direction, wherein the positions of the first operating part and the second operating part are fixed on the fixed rail by a magnet after the slide movement," is found in the invention in claim 4.

Therefore, the invention in claims 1-4, for which the presence or absence of a special technical feature was previously determined, is classified as the main invention (invention 1).

(Invention 2) The invention in claims 5 and 6 is not dependent on claim 1 and does not have any special technical feature found in the invention in claim 4 described above. Also, the invention in claims 5 and 6 is not substantially identical to or similarly closely related to the invention in any of claims classified as the main invention (invention 1).

Also, claims 5 and 6 share the common technical feature of a "prize winning game device characterized by comprising: a fixed rail extending in the left-right direction across a first play region on the left and a second

Box No. III Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 3 of first sheet)

play region on the right, which are adjacent to each other left and right within an accommodation space for accommodating a prize; a first moving rail supported by the fixed rail in the first play region so as to be freely movable along the left-right direction perpendicular to the fixed rail; a first prize acquisition part supported on the first moving rail so as to be freely movable in the front-rear direction; a second moving rail supported by the fixed rail in the second play region so as to be freely movable along the left-right direction perpendicular to the fixed rail; a second prize acquisition part supported on the second moving rail so as to be freely movable in the front-rear direction; a first sensor mounted on the first moving rail and detecting a boundary position between the first play region and the second play region; a second sensor mounted on the second moving rail and detecting a boundary position between the first play region and the second play region; and an operating part that operates the first sensor and the second sensor and is supported on the fixed rail so as to be freely movable in the left-right direction, wherein the fixed rail supports the operating part at a position after the movement between the first moving rail and the second moving rail and thus can change the boundary position between the first play region and the second play region" and are thus classified as invention 2.

1. ☑ As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.

2. ☐ As all searchable claims could be searched without effort justifying additional fees, this Authority did not invite payment of additional fees.

3. ☐ As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:

4. ☐ No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.:

Remark on Protest

☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest and, where applicable, the payment of a protest fee.

☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest but the applicable protest fee was not paid within the time limit specified in the invitation.

☑ No protest accompanied the payment of additional search fees.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.
PCT/JP2023/041539

Patent document cited in search report	Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)	Publication date (day/month/year)
JP 2002-239208 A	27 August 2002	(Family: none)	
JP 52-108226 A	10 September 1977	(Family: none)	
JP 11-239669 A	07 September 1999	(Family: none)	
JP 2006-122510 A	18 May 2006	US 2008/0001360 A1 paragraphs [0032], [0046], fig. 7 EP 1834678 A1 KR 10-2007-0083690 A CN 101052445 A	
JP 2012-254223 A	27 December 2012	(Family: none)	
JP 2013-90863 A	16 May 2013	(Family: none)	

国際調査報告

国際出願番号
PCT/JP2023/041539

A.　発明の属する分野の分類（国際特許分類（ＩＰＣ））

A63F 9/30(2006.01)i
FI: A63F9/30 502C

B.　調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（ＩＰＣ））

A63F9/30

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	１９２２－１９９６年
日本国公開実用新案公報	１９７１－２０２４年
日本国実用新案登録公報	１９９６－２０２４年
日本国登録実用新案公報	１９９４－２０２４年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C.　関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー*	引用文献名　及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求項の番号
Y	JP 2002-239208 A (アルゼ株式会社) 27.08.2002 (2002-08-27) ［００２３］、［００２７］－［００４１］、［００４４］－［００４７］、［００５５］、［００５６］、［００８６］、［００９３］、図１－３、５、７	1-6
Y	JP 52-108226 A (潮産業株式会社) 10.09.1977 (1977-09-10) 第２頁左上欄第２－６行、右上欄第４－６行、第３頁左上欄第３－８行、第１、２図	1-6
Y	JP 11-239669 A (株式会社セガ・エンタープライゼス) 07.09.1999 (1999-09-07) ［００４１］、［００９７］、図３	1-6
Y	JP 2006-122510 A (株式会社セガ) 18.05.2006 (2006-05-18) ［００２４］、［００３８］、図７	1-6
Y	JP 2012-254223 A (株式会社セガ) 27.12.2012 (2012-12-27) ［００２９］、［００３１］、［００３５］、図５	4
Y	JP 2013-90863 A (トーソー株式会社) 16.05.2013 (2013-05-16) ［０００１］、［００３５］、図１	4

☐ Ｃ欄の続きにも文献が列挙されている。

☑ パテントファミリーに関する別紙を参照。

＊　引用文献のカテゴリー
“A” 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
“D” 国際出願で出願人が先行技術文献として記載した文献
“E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
“L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
“O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
“P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献
“T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
“X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
“Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の１以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
“&” 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日	国際調査報告の発送日
22.01.2024	30.01.2024

名称及びあて先

日本国特許庁(ISA/JP)
〒100-8915
日本国
東京都千代田区霞が関三丁目４番３号

権限のある職員（特許庁審査官）

柳　重幸 2D 4840

電話番号 03-3581-1101 内線 3241

国際調査報告

国際出願番号
PCT/JP2023/041539

第Ⅲ欄　　発明の単一性が欠如しているときの意見（第１ページの３の続き）

次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。

文献１：JP 2002-239208 A（アルゼ株式会社）27.08.2002(2002-08-27)
［００２３］、［００２７］－［００４１］、［００４４］－［００４７］、
［００５５］、［００５６］、［００８６］、図１－３、５、７
（ファミリーなし）

文献２：JP 52-108226 A（潮産業株式会社）10.09.1977(1977-09-10)
第２頁左上欄第２－６行、右上欄第４－６行、第３頁左上欄第３－８行、第１、２図
（ファミリーなし）

文献３：JP 11-239669 A（株式会社セガ・エンタープライゼス）07.09.1999(1999-09-07)
［００４１］、［００９７］、図３　（ファミリーなし）

文献４：JP 2006-122510 A（株式会社セガ）18.05.2006(2006-05-18)
［００２４］、［００３８］、図７
& US 2008/0001360 A1　[0032],[0046],FIG.7
& EP 1834678 A1 & KR 10-2007-0083690 A & CN 101052445 A

請求の範囲は、以下の２つの発明に区分される。
（発明１）請求項1に係る発明について、文献１（［００２３］、［００２７］－［００４１］、［００４４］－［００４７］、［００５５］、［００５６］、［００８６］、図１－３、５、７）には、Ｘ軸用スライドシャフト１８（請求項1の「固定レール」に相当）と、１Ｐ用・２Ｐ用Ｙ軸ユニット４０、７０（「第１移動レール」、「第２移動レール」）と、クレーン５ａ、５ｂ（「第１景品取得部」、「第２景品取得部」）と、１Ｐ側のマイクロスイッチ４８（「第１センサー」）と２Ｐ側のマイクロスイッチ７８（「第２センサー」）と、ハウジング１の内面に設けられたリミッタ１０２、１０４と、を備え、リミッタの位置を変更することで各プレイエリアの端位置を変更する、クレーンゲーム機（「景品取得ゲーム装置」）の発明が記載されている。
文献１に記載の発明では、Ｘ軸用スライドシャフト１８（「固定レール」）がリミッタ１０２、１０４を支持していないが、例えば文献２（第２頁左上欄第２－６行、右上欄第４－６行、第３頁左上欄第３－８行、第１、２図）には、ストッパ２２（「作動部」）を有するレール６（「固定レール」）とリミットスイッチ２０（「センサー」）を有するクレーン本体７（「移動レール」）と、を備える景品取得ゲーム装置が記載され、文献３（［００４１］、［００９７］、図３）には、光センサー３１（「センサ」）を有する固定レール２１（「固定レール」）とアクチュエータ３４（「作動部」）を有する移動レール４１（「移動レール」）と、を備える景品取得ゲーム装置において、移動する物を案内する側にアクチュエータを設け、移動する物の側に光センサーを設けること、つまり、固定レールにアクチュエータを設け、移動レールに光センサーを設けることが記載され、文献４（［００２４］、［００３８］、図７）には、投光センサ３２ａ１（「作動部」）を有する固定レール３２Ａ（「固定レール」）を備え、受光センサ３２ｂ（「センサー」）を移動レール３２Ｂ（「移動レール」）側に設ける、景品取得ゲーム装置が記載されるように、景品取得ゲーム装置の分野において、移動レールの移動範囲を、移動レールに設けるセンサーと固定レールが支持する作動部とで設定する構成は周知技術であるから、文献１に記載の発明において、Ｘ軸用スライドシャフト１８（「固定レール」）がリミッタ１０２、１０４を支持（「第１作動部」、「第２作動部」）して、１Ｐ側のマイクロスイッチ４８や２Ｐ側のマイクロスイッチ７８を作動させることは、周知技術の付加、または、設計変更に過ぎない。
すると、請求項1に係る発明に特別な技術的特徴は発見されない。
また、文献１に記載の発明の１Ｐ用・２Ｐ用Ｙ軸ユニット４０、７０（「第１移動レール」、「第２移動レール」）は、１Ｐ側のマイクロスイッチ４８（「第１センサー」）をリミッタ１０２が作動させた場合や２Ｐ側のマイクロスイッチ７８（「第２センサー」）をリミッタ１０４が作動させた場合に、各プレイエリアの端位置で停止するよう制御されており、さらに、文献１に記載の発明では、リミッタ１０２とリミッタ１０４との間で「非プレイエリア」を形成可能であるから、請求項2,3に係る発明に特別な技術的特徴は発見されない。
そして、請求項4に係る発明に「固定レールは、第１作動部及び第２作動部を左右方向に沿ってスライド移動可能に支持し、前記第１作動部及び前記第２作動部は、スライド移動後の位置において磁石によって前記固定レールに位置決めされる」という特別な技術的特徴が発見された。
よって、これまでに特別な技術的特徴の有無を判断した請求項1-4に係る発明を主発明（発明１）とする。

国際調査報告

国際出願番号
PCT/JP2023/041539

第Ⅲ欄　発明の単一性が欠如しているときの意見（第１ページの３の続き）

（発明２）請求項5,6に係る発明は、請求項1の従属請求項でなく、上記請求項4に係る発明で発見された特別な技術的特徴を有さず、また、主発明（発明１）に区分したいずれの請求項に係る発明に対しても実質同一又はそれに準ずる関係にない。

そして、請求項5,6は「景品を収容する収納空間内で左右に隣り合う左側の第１プレイエリア及び右側の第２プレイエリアに跨って左右方向に延在する固定レールと、前記第１プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１移動レールと、前後方向に沿って移動自在に前記第１移動レールに支持された第１景品取得部と、前記第２プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２移動レールと、前後方向に沿って移動自在に前記第２移動レールに支持された第２景品取得部と、前記第１移動レールに取付けられ、第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置を検知する第１センサーと、前記第２移動レールに取付けられ、第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置を検知する第２センサーと、前記第１センサー及び前記第２センサーを作動させる作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された作動部と、を備え、前記固定レールは、前記第１移動レールと前記第２移動レールとの間での移動後の位置において前記作動部を支持することにより、第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置を変更可能にする、ことを特徴とする景品取得ゲーム装置。」という共通する特別な技術的特徴を有しているので、発明２に区分する。

1. ☑ 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求項について作成した。

2. ☐ 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求項について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。

3. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求項のみについて作成した。

4. ☐ 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求項について作成した。

追加調査手数料の異議の申立てに関する注意

☐ 追加調査手数料及び、該当する場合には、異議申立手数料の納付と共に、出願人から異議申立てがあった。

☐ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあったが、異議申立手数料が納付命令書に示した期間内に支払われなかった。

☑ 追加調査手数料の納付はあったが、異議申立てはなかった。

国際調査報告
パテントファミリーに関する情報

国際出願番号
PCT/JP2023/041539

引用文献	公表日	パテントファミリー文献	公表日
JP 2002-239208 A	27.08.2002	（ファミリーなし）	
JP 52-108226 A	10.09.1977	（ファミリーなし）	
JP 11-239669 A	07.09.1999	（ファミリーなし）	
JP 2006-122510 A	18.05.2006	US 2008/0001360 A1 [0032],[0046],FIG.7 EP 1834678 A1 KR 10-2007-0083690 A CN 101052445 A	
JP 2012-254223 A	27.12.2012	（ファミリーなし）	
JP 2013-90863 A	16.05.2013	（ファミリーなし）	